

I 主要な業務に関する指標

1 主要な業務の状況および共済契約に関する指標

1 共済事業の経過と実績	63
2 実施会員数	64
3 加入者数	64
4 新契約高	65
5 保有契約高・保有契約高増加率	65
6 保障機能別保有契約高	66
7 受入共済掛金	67
8 受入共済金・支払共済掛金・支払返戻金	67
9 共済金支払件数	68
10 支払共済金額	69
11 新契約平均共済金額	70
12 保有契約平均共済金額	70
13 解約失効率	70
14 月払契約の新契約平均共済掛金	70
15 契約者割戻しの状況	71
16 再共済（再保険）実施状況	76
17 第三分野共済の共済契約に係る給付事由又は 共済事業の種類ごとの発生共済金額の 経過共済掛金に対する割合	77
18 契約年度別責任準備金残高および予定利率	77
19 受託共済の状況	78

2 経理に関する指標

1 責任準備金の積立方式および積立率	79
2 契約者割戻準備金明細	79
3 引当金明細表	79
4 法定準備金および任意積立金明細(剰余金処分前)	80
5 事業経費の明細	81
6 経常剰余金	81
7 支払率	81
8 事業費率	81

3 資産運用に関する指標

1 主要資産の区分別平均残高および運用利回り	82
2 主要資産の区分別構成および増減	82
3 区分別の資産運用収益明細	83
4 区分別の資産運用費用明細	83
5 利息および配当金収入明細	83
6 有価証券の種類別・残存期間別残高	84
7 業種別保有株式の額・貸付金関連・海外投資関連	86
8 リスク管理債権の状況	87
9 債務者区分による債権の状況	87
10 有価証券および金銭の信託の時価情報	87
11 デリバティブ取引の時価情報	88

4 主要な経営指標

1 支払余力比率	89
2 利源別損益	90
3 自己資本比率	90

5 その他の指標

業務用固定資産残高	91
-----------	----

II 財産の状況に関する事項

1 貸借対照表	92	4 注記事項	96
2 損益計算書	94	5 剰余金処分計算書	98
3 部門別損益計算書	95		

I 主要な業務に関する指標

1

主要な業務の状況および共済契約に関する指標

本誌のデータは、コープ共済連引受のCO・OP共済事業の主な指標です。

■ CO・OP共済商品別共済事業規約

事業規約名 商品名	元受共済					受託共済 (全国労働者共済生活協同組合連合会元受共済)		
	生命共済	住宅災害共済	こども共済	定期生命共済	終身共済	個人長期生命共済	火災共済	自然災害共済
《たすけあい》	○	○	○					
《あいぷらす》				○				
《ずっとあい》					○			
《あいあい》	○	○				○		
《新あいあい》						○		
火災共済							○	○

注1. CO・OP生命共済《あいあい》は、コープ共済連の生命共済および住宅災害共済と全国労働者共済生活協同組合連合会の個人長期生命共済を組合せた共済契約に、共栄火災海上保険株式会社の普通傷害保険を付帯した商品です。CO・OP生命共済《あいあい》は、募集を停止しました。

1 共済事業の経過と実績

(単位：千円/千円未満切り捨て)

項 目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
加入者数 (単位：人)	7,948,755	8,095,128	8,248,177	8,374,294	8,500,502
契約口数 (単位：口)	117,446,627	119,679,389	122,995,393	124,368,460	125,899,547
契約高 (単位：億円)	117,446	119,679	122,995	124,368	125,899
共済金支払件数 (単位：件)	1,304,245	1,307,826	1,327,308	1,354,095	1,381,932
受入共済掛金	175,502,617	180,528,066	186,090,965	191,032,139	194,888,500
支払共済金	62,951,408	64,403,185	65,567,059	67,352,265	68,934,424
経常収益	206,560,900	213,137,491	219,660,897	225,541,658	230,788,650
共済掛金等収入	176,296,077	181,249,962	186,924,395	192,327,455	196,343,308
共済契約準備金戻入額	28,566,415	30,241,784	30,243,707	30,974,466	31,850,974
資産運用収益	1,401,991	1,392,502	1,849,849	1,752,446	2,073,920
経常費用	158,285,613	164,750,059	170,417,372	177,797,981	180,842,564
共済金等支払額	93,817,364	97,091,767	98,587,905	101,448,746	104,069,445
共済契約準備金繰入額	14,352,100	15,097,921	17,255,338	19,006,152	18,826,364
資産運用費用	64,588	106,078	120,725	128,703	155,984
経常剰余金	48,275,286	48,387,431	49,243,525	47,743,676	49,946,086
基礎利益	50,444,339	50,510,894	51,774,540	50,980,735	51,961,543
割戻準備金繰入額	32,672,000	33,295,000	34,212,000	34,856,000	35,401,000

注1. 契約口数は、基本契約の契約口数です。共済金額10万円を1口として計算しています。

2. 契約高は、生命共済、こども共済、定期生命共済および終身共済の各共済事業における死亡・重度障害共済金額の引受額の合計です。

3. 共済掛金等収入額＝受入共済掛金＋受入共済金＋受入受託手数料

4. 共済金等支払額＝支払共済金＋支払共済掛金＋支払返戻金＋支払割戻金

5. 基礎利益は、経常剰余金－キャピタル損益－臨時損益で計算しています。

※ キャピタル損益＝キャピタル収益（金銭の信託運用益＋売買目的有価証券運用益＋有価証券売却益＋金融派生商品収益＋為替差益＋その他キャピタル収益）－キャピタル費用（金銭の信託運用損＋売買目的有価証券運用損＋有価証券売却損＋有価証券評価損＋金融派生商品費用＋為替差損＋その他キャピタル費用）

ただし、キャピタル収益（費用）の各項目のうち、インカム・ゲイン（ロス）にあたる額は基礎利益の計算に含める扱いとしています。

※ 臨時損益＝臨時収益（再保険収入＋危険準備金戻入額＋その他臨時収益）－臨時費用（再保険料＋危険準備金繰入額＋個別貸倒引当金繰入額＋特定海外債券引当勘定繰入額＋貸付金償却＋その他臨時費用）

2 実施会員数

(単位：会員)

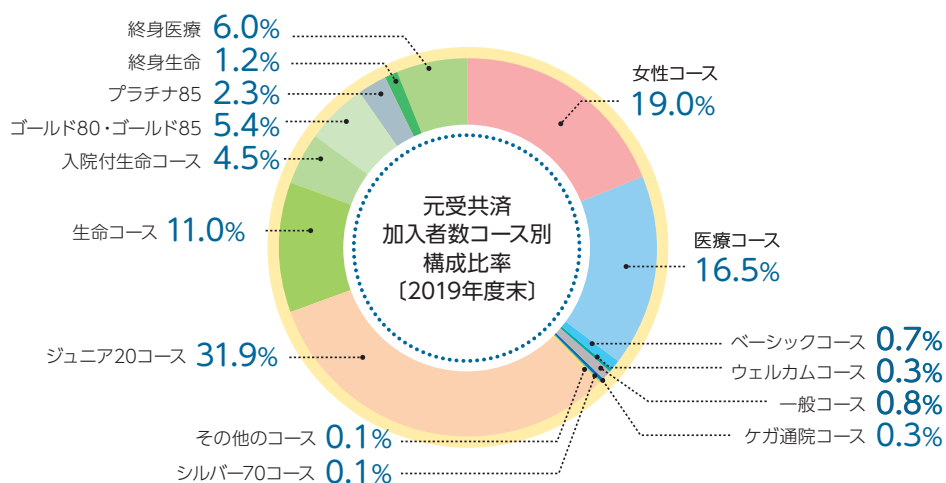
共済事業の種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	前年度差
《たすけあい》 生命共済・住宅災害共済・こども共済	138	139	141	141	142	1
《あいびらす》 定期生命共済	138	139	141	141	142	1
《ずっとあい》 終身共済	133	134	136	136	137	1

3 加入者数

(単位：人、%)

共済事業の種類		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	前年度差	前年度比
生命共済・ 住宅災害共済	コース等							
	女性コース	1,574,824	1,580,233	1,578,852	1,594,942	1,615,047	20,105	101.3
	医療コース	1,399,669	1,368,645	1,352,378	1,376,854	1,400,995	24,141	101.8
	ベーシックコース	74,037	69,901	66,416	63,107	59,651	△3,456	94.5
	ウェルカムコース	36,686	32,508	28,870	25,761	23,037	△2,724	89.4
	《たすけあい》 《あいあい》 一般コース	113,529	98,451	86,013	75,335	66,335	△9,000	88.1
	ケガ通院コース	41,224	36,758	33,026	29,844	26,934	△2,910	90.2
	シルバー 70コース	22,887	19,805	17,736	13,441	9,067	△4,374	67.5
	その他のコース	10,992	9,954	8,931	8,028	7,174	△854	89.4
	小 計	3,273,848	3,216,255	3,172,222	3,187,312	3,208,240	20,928	100.7
こども共済	《たすけあい》 ジュニア20コース	2,611,999	2,682,802	2,744,045	2,729,263	2,713,550	△15,713	99.4
	小 計	2,611,999	2,682,802	2,744,045	2,729,263	2,713,550	△15,713	99.4
定期生命共済	《あいびらす》 生命コース	807,650	844,246	874,348	905,747	936,475	30,728	103.4
	入院付生命コース	391,615	388,313	382,962	380,356	378,281	△2,075	99.5
	ゴールド80・ゴールド85	492,982	523,260	516,327	486,339	458,087	△28,252	94.2
	プラチナ85	—	—	60,106	132,807	196,106	63,299	147.7
	小 計	1,692,247	1,755,819	1,833,743	1,905,249	1,968,949	63,700	103.3
終身共済	《ずっとあい》 終身生命	56,575	67,278	78,597	90,167	101,979	11,812	113.1
	終身医療	314,086	372,974	419,570	462,303	507,784	45,481	109.8
	小 計	370,661	440,252	498,167	552,470	609,763	57,293	110.4
合 計		7,948,755	8,095,128	8,248,177	8,374,294	8,500,502	126,208	101.5

注1. 生命共済・住宅災害共済の「その他のコース」には、コープ共済連の引き受けがあった《あいあい》(2012年度中まで) および、2012年3月1日に移行した「ふれあい」シルバー型(2013年度中まで)を含みます。



4 新契約高

(単位：億円/億円未満切り捨て)

共済事業の種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
生命共済	1,226	1,177	1,118	1,099	1,100
こども共済	2,747	2,566	2,547	2,533	2,549
定期生命共済	6,078	5,770	5,367	5,388	5,567
終身共済 (生命)	326	348	382	412	437
合 計	10,378	9,862	9,416	9,434	9,654

注1. 終身共済 (医療) には死亡保障がないため、契約高には反映されません。

5 保有契約高・保有契約高増加率

(単位：億円/億円未満切り捨て、%)

共済事業の種類	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
	金額	増加率	金額	増加率	金額	増加率	金額	増加率	金額	増加率
生命共済	28,173	△ 2.7	27,347	△ 2.9	26,692	△ 2.4	26,294	△ 1.5	25,984	△ 1.2
こども共済	29,954	0.1	30,582	2.1	32,540	6.4	32,241	△ 0.9	31,956	△ 0.9
定期生命共済	57,948	5.2	60,126	3.8	61,862	2.9	63,641	2.9	65,465	2.9
終身共済 (生命)	1,370	22.0	1,622	18.4	1,900	17.1	2,191	15.3	2,492	13.7
合 計	117,446	2.0	119,679	1.9	122,995	2.8	124,368	1.1	125,899	1.2

注1. 契約高増加率=期中契約高増加額÷前期末契約高

2. 終身共済 (医療) には死亡保障がないため、契約高には反映されません。

6 保障機能別保有契約高

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分		共済事業の種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
死亡保障	死 亡	生命共済	2,817,359	2,734,707	2,669,209	2,629,440	2,598,438
		こども共済	2,995,456	3,058,268	3,254,008	3,224,162	3,195,661
		定期生命共済	5,794,829	6,012,691	6,186,294	6,364,125	6,546,587
		終身共済	137,018	162,271	190,027	219,118	249,267
		合 計	11,744,662	11,967,938	12,299,539	12,436,845	12,589,954
	災害死亡	生命共済	2,942,354	2,900,470	2,865,271	2,878,561	2,898,721
		こども共済	1,657,462	1,700,258	1,738,617	1,728,141	1,718,060
		合 計	4,599,816	4,600,729	4,603,889	4,606,702	4,616,781
入院保障	疾病入院	生命共済	14,501	14,317	14,162	14,227	14,321
		こども共済	15,582	16,003	16,366	16,273	16,171
		定期生命共済	3,434	3,525	3,658	3,790	3,907
		終身共済	1,337	1,599	1,813	2,014	2,229
		合 計	34,856	35,446	36,001	36,306	36,630
	災害入院	生命共済	14,494	14,309	14,154	14,219	14,313
		こども共済	15,844	16,316	16,683	16,585	16,481
		定期生命共済	3,434	3,525	3,550	3,517	3,482
		終身共済	1,337	1,599	1,813	2,014	2,229
		合 計	35,112	35,750	36,202	36,337	36,506
	女性特定疾病入院	生命共済	4,510	4,509	4,507	4,555	4,613
		合 計	4,510	4,509	4,507	4,555	4,613
	がん入院	定期生命共済	8,709	9,036	9,295	9,612	9,916
		合 計	8,709	9,036	9,295	9,612	9,916
障害保障	重度障害	生命共済	2,817,359	2,734,707	2,669,209	2,629,440	2,598,438
		こども共済	2,995,456	3,058,268	3,254,008	3,224,162	3,195,661
		定期生命共済	5,794,829	6,012,691	6,186,294	6,364,125	6,546,587
		終身共済	137,018	162,271	190,027	219,118	249,267
		合 計	11,744,662	11,967,938	12,299,539	12,436,845	12,589,954
	災害重度障害	生命共済	2,942,354	2,900,470	2,865,271	2,878,561	2,898,721
		こども共済	1,657,462	1,700,258	1,738,617	1,728,141	1,718,060
		合 計	4,599,816	4,600,729	4,603,889	4,606,702	4,616,781
	災害後遺障害	生命共済	3,017,722	2,968,691	2,927,526	2,936,117	2,951,629
		こども共済	9,658,317	9,912,673	10,135,483	10,074,957	10,012,950
		合 計	12,676,039	12,881,365	13,063,010	13,011,075	12,964,579
手術保障	手 術	生命共済	241,183	237,226	234,651	235,768	237,303
		こども共済	515,391	529,277	541,300	538,143	534,713
		定期生命共済	87,069	86,397	85,862	85,914	86,038
		終身共済	53,519	63,996	72,533	80,589	89,177
		合 計	897,164	916,898	934,349	940,415	947,233
	がん手術	定期生命共済	348,390	361,459	371,831	384,494	396,641
		合 計	348,390	361,459	371,831	384,494	396,641

注1. 死亡および重度障害は、各共済事業における死亡・重度障害共済金額の引受額の合計です。

2. 災害死亡および災害重度障害は、各共済事業における災害死亡・災害重度障害共済金額の引受額の合計です。

3. 入院保障は、各共済事業における入院に関する共済金額の引受額の合計です。

4. 手術は、各共済事業における手術共済金額の引受額の合計に1回の手術における最高支払倍率を乗じた金額の合計です。

5. 生存保障の取り扱いはありません。

7 受入共済掛金

(単位：千円/千円未満切り捨て、%)

共済事業の種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	前年度差		前年度比
						前年度差	前年度比	
生命共済・住宅災害共済	75,077,624	73,924,730	72,760,319	73,207,060	73,222,627	15,567		100.0
こども共済	31,681,777	32,074,018	33,464,074	33,816,892	33,576,641	△ 240,251		99.3
定期生命共済	53,545,325	56,362,195	58,912,302	61,736,548	63,697,770	1,961,222		103.2
終身共済	15,197,891	18,167,122	20,954,268	22,271,638	24,391,460	2,119,822		109.5
合 計	175,502,617	180,528,066	186,090,965	191,032,139	194,888,500	3,856,361		102.0

8 受入共済金・支払共済掛金・支払返戻金

(単位：千円/千円未満切り捨て、%)

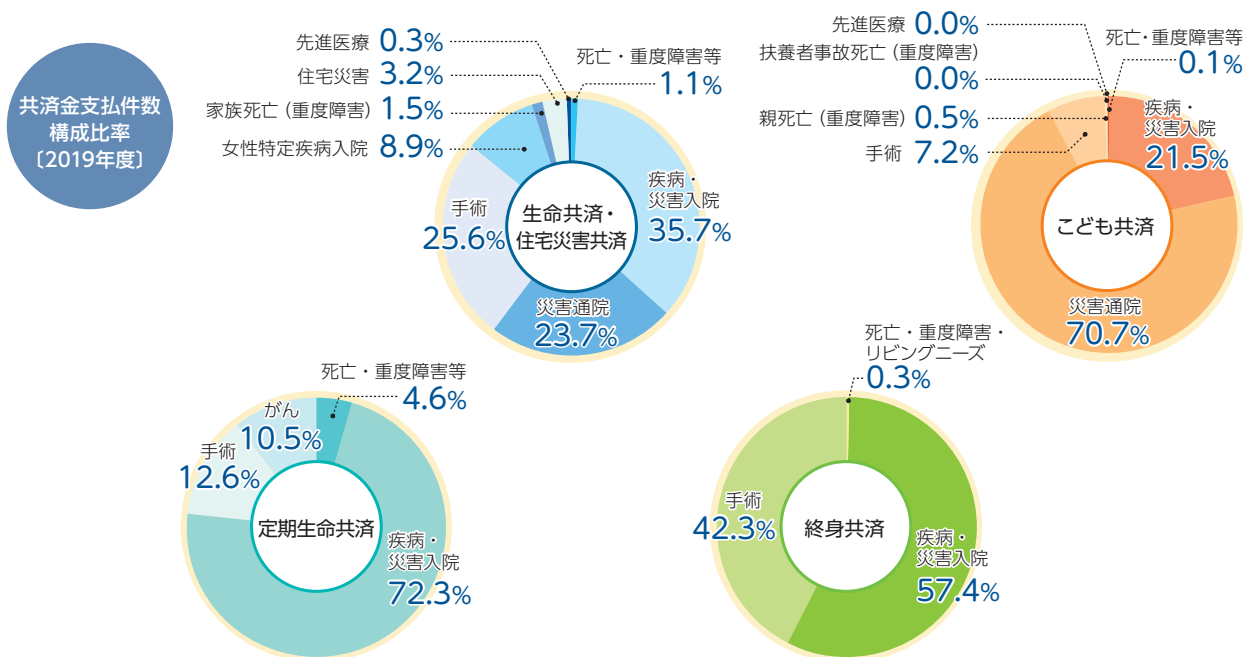
共済事業の種類	受入共済金				支払共済掛金				支払返戻金			
	2017年度	2018年度	2019年度	前年度比	2017年度	2018年度	2019年度	前年度比	2017年度	2018年度	2019年度	前年度比
生命共済・住宅災害共済	219,387	650,477	705,223	108.4	343,267	387,602	407,428	105.1	—	—	—	—
こども共済	6,405	3,980	2,735	68.7	—	—	—	—	—	—	—	—
定期生命共済	128,214	144,323	239,282	165.8	333,958	406,073	436,921	107.6	1,592,802	1,620,090	1,568,265	96.8
終身共済	24,992	29,808	39,530	132.6	42,700	55,626	67,184	120.8	619,372	734,732	883,590	120.3
合 計	378,999	828,588	986,771	119.1	719,926	849,303	911,534	107.3	2,212,174	2,354,822	2,451,856	104.1

9 共済金支払件数

(単位：件、%)

共済事業の種類	共済金の種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	前年度差		前年度比
							前年度差	前年度比	
生命共済・住宅災害共済	死亡・重度障害等	7,209	7,002	6,667	6,432	6,025	△ 407	93.7	
	疾病・災害入院	206,489	204,029	201,430	201,626	203,154	1,528	100.8	
	災害通院	146,905	140,974	137,298	134,925	135,308	383	100.3	
	手術	136,894	136,953	139,050	140,975	145,934	4,959	103.5	
	女性特定疾病入院	44,916	46,231	46,845	48,578	50,762	2,184	104.5	
	家族死亡(重度障害)	10,317	9,770	9,384	9,266	8,585	△ 681	92.7	
	住宅災害	5,766	3,725	4,530	17,372	18,350	978	105.6	
	先進医療	—	50	340	793	1,636	843	206.3	
	小 計	558,496	548,734	545,544	559,967	569,754	9,787	101.7	
こども共済	死亡・重度障害等	618	667	662	701	655	△ 46	93.4	
	疾病・災害入院	106,735	109,013	112,650	115,184	118,957	3,773	103.3	
	災害通院	423,360	415,220	411,533	397,006	390,688	△ 6,318	98.4	
	手術	34,255	35,403	37,898	38,656	39,569	913	102.4	
	親死亡(重度障害)	2,814	2,820	2,850	3,003	2,750	△ 253	91.6	
	扶養者事故死亡(重度障害)	165	179	126	160	151	△ 9	94.4	
	先進医療	—	0	0	0	2	2	—	
	小 計	567,947	563,302	565,719	554,710	552,772	△ 1,938	99.7	
定期生命共済	死亡・重度障害等	6,809	7,365	8,021	8,420	8,800	380	104.5	
	疾病・災害入院	105,444	112,328	119,878	130,922	137,922	7,000	105.3	
	手術	14,426	15,049	16,422	20,633	24,132	3,499	117.0	
	がん	14,628	16,800	17,726	19,016	20,025	1,009	105.3	
	小 計	141,307	151,542	162,047	178,991	190,879	11,888	106.6	
終身共済	死亡・重度障害・リビングニース	103	97	133	173	219	46	126.6	
	疾病・災害入院	21,227	25,827	31,136	34,910	39,338	4,428	112.7	
	手術	15,165	18,324	22,729	25,344	28,970	3,626	114.3	
	小 計	36,495	44,248	53,998	60,427	68,527	8,100	113.4	
合 計		1,304,245	1,307,826	1,327,308	1,354,095	1,381,932	27,837	102.1	

注1. 生命共済・住宅災害共済の共済金支払件数には、CO・OP生命共済《あいあい》のコープ共済連元受部分を含みます。



10 支払共済金額

(単位：千円/千円未満切り捨て、%)

共済事業の種類	共済金の種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度		
							前年度差	前年度比
生命共済・住宅災害共済	死亡・重度障害等	5,140,468	4,927,934	4,477,380	4,351,523	3,981,437	△ 370,086	91.5
	疾病・災害入院	13,091,180	12,673,305	12,465,882	12,204,695	12,185,399	△ 19,296	99.8
	災害通院	3,621,307	3,460,750	3,438,610	3,330,536	3,275,458	△ 55,078	98.3
	手術	4,854,925	4,830,676	4,864,037	4,893,892	5,044,628	150,736	103.1
	女性特定疾病入院	1,391,927	1,402,792	1,395,603	1,414,767	1,458,005	43,238	103.1
	家族死亡(重度障害)	269,214	251,736	234,052	232,160	212,222	△ 19,938	91.4
	住宅災害	272,170	198,060	210,620	796,530	820,440	23,910	103.0
	先進医療	—	12,362	81,372	214,756	484,882	270,126	225.8
	小 計	28,641,191	27,757,616	27,167,558	27,438,860	27,462,474	23,614	100.1
こども共済	死亡・重度障害等	625,700	605,011	648,345	644,455	613,870	△ 30,585	95.3
	疾病・災害入院	5,364,633	5,424,075	5,580,356	5,705,236	5,827,318	122,082	102.1
	災害通院	6,449,712	6,375,783	6,417,306	6,149,530	6,174,889	25,359	100.4
	手術	2,052,171	2,102,536	2,268,145	2,315,375	2,356,699	41,324	101.8
	親死亡(重度障害)	139,940	143,020	141,364	149,510	130,540	△ 18,970	87.3
	扶養者事故死亡(重度障害)	237,000	239,000	192,000	226,000	216,000	△ 10,000	95.6
	先進医療	—	—	—	—	200	—	—
	小 計	14,869,156	14,889,426	15,247,518	15,190,106	15,319,516	129,410	100.9
定期生命共済	死亡・重度障害等	7,105,359	7,988,990	8,038,287	8,245,075	8,376,824	131,749	101.6
	疾病・災害入院	5,627,645	6,015,466	6,474,128	7,077,710	7,469,081	391,371	105.5
	手術	1,294,872	1,368,220	1,425,402	1,545,333	1,615,286	69,953	104.5
	がん	3,296,393	3,887,648	4,156,117	4,382,870	4,728,237	345,367	107.9
	小 計	17,324,269	19,260,325	20,093,935	21,250,989	22,189,429	938,440	104.4
終身共済	死亡・重度障害・リビングニース	159,969	149,876	197,962	274,809	324,973	50,164	118.3
	疾病・災害入院	1,046,266	1,239,280	1,491,311	1,667,947	1,876,932	208,985	112.5
	手術	910,556	1,106,659	1,368,773	1,529,551	1,761,098	231,547	115.1
	小 計	2,116,791	2,495,815	3,058,046	3,472,308	3,963,003	490,695	114.1
合 計		62,951,408	64,403,185	65,567,059	67,352,265	68,934,424	1,582,159	102.3

注1. 生命共済・住宅災害共済の支払共済金額には、CO・OP生命共済《あいあい》のコープ共済連元受部分を含みます。

12

参考資料

13

CO・OP生命共済
取り扱い
生協一覧
会員

14

用語解説

11 新契約平均共済金額

(単位：円)

共済事業の種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
生命共済	671,786	690,659	718,252	729,850	743,942
こども共済	1,090,008	1,102,378	1,148,943	1,176,809	1,177,049
定期生命共済	5,041,930	5,232,131	4,351,022	4,617,333	4,774,566
終身共済 (生命)	2,851,395	2,793,837	2,828,825	2,861,966	2,834,294

注1. 平均共済金額は、各共済事業における死亡・重度障害共済金額の引受額の平均額です。

12 保有契約平均共済金額

(単位：円)

共済事業の種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
生命共済	860,565	850,277	841,432	824,971	809,926
こども共済	1,146,806	1,139,953	1,185,844	1,181,331	1,177,668
定期生命共済	3,424,340	3,424,437	3,373,588	3,340,312	3,324,915
終身共済 (生命)	2,421,882	2,411,947	2,417,739	2,430,135	2,444,297

注1. 平均共済金額は、各共済事業における死亡・重度障害共済金額の引受額の平均額です。

13 解約失効率

(単位：%)

共済事業の種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
生命共済・住宅災害共済	4.4	4.3	4.2	4.1	4.1
こども共済	3.6	3.6	3.5	3.5	3.4
定期生命共済	4.5	4.3	4.2	4.0	3.8
終身共済	5.3	5.1	5.1	4.8	4.6
合 計	4.2	4.1	4.0	3.9	3.9

注1. 解約失効率=期中解約・失効件数÷平残加入者数 (年間の加入者数合計÷12か月)

14 月払契約の新契約平均共済掛金

(単位：円)

共済事業の種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
生命共済・住宅災害共済	1,775	1,845	1,924	1,927	1,938
こども共済	1,028	1,050	1,079	1,086	1,089
定期生命共済	2,096	2,132	2,097	2,018	2,019
終身共済 (生命)	5,611	5,530	5,656	5,587	5,558
終身共済 (医療)	2,655	2,679	2,639	2,553	2,574

注1. 新契約平均共済掛金は、各年度 (3月21日～翌年3月20日) に新規加入 (更改加入および継続加入を除く) した共済契約を算出対象としています。

15 契約者割戻しの状況

契約者割戻しについては、各共済事業規約にもとづき、決算に際し共済事業別に割戻しの原資となる「契約者割戻準備金繰入額」を決定した後、利源分析の結果を考慮して「契約者割戻準備金繰入額」の利源別の内訳を決定しています。

1 共済事業別の契約者割戻準備金繰入額

(単位：百万円/百万円未満切り捨て、%)

共済事業の種類	契約者割戻準備金繰入額	受入共済掛金に対する比率	経常剰余金に対する比率
生命共済・住宅災害共済	15,647	21.7	67.1
生命共済	15,468	21.8	66.9
住宅災害共済	179	17.2	79.9
こども共済	5,316	16.0	72.3
定期生命共済	13,950	21.9	78.4
終身共済	488	2.0	84.1

注1. 生命共済・住宅災害共済事業は《たすけあい》のジュニア20コース以外の各コースおよび、プラチナ85に付帯する先進医療特約の割戻し、こども共済事業は《たすけあい》のジュニア20コースの割戻しが該当します。

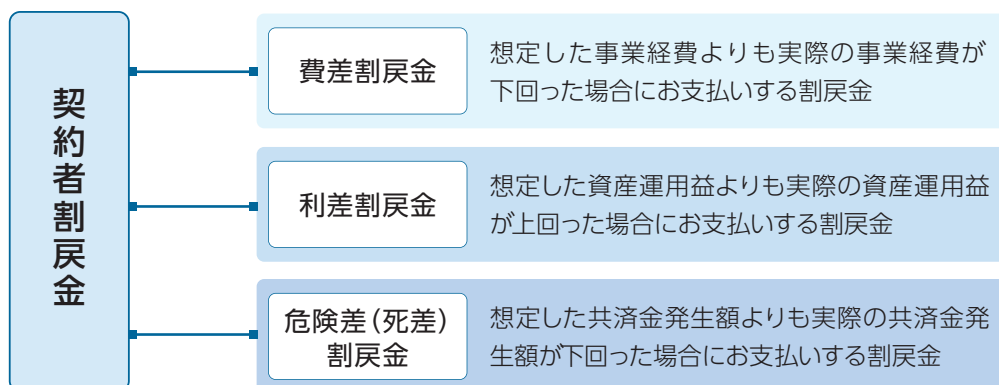
2. 定期生命共済、終身共済の経常剰余金に対する比率は、経常剰余金から前年度割戻準備金繰入額の余剰分および価格変動準備金を除いています(定期生命共済27,316千円、終身共済28,177千円)。

2 契約者割戻準備金繰入額の利源別内訳

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

共済事業の種類	契約者割戻準備金繰入額	内訳		
		費差割戻金	利差割戻金	危険差割戻金
生命共済	15,468	1,754	10	13,703
住宅災害共済	179	291	0	△ 112
こども共済	5,316	2,154	4	3,157
定期生命共済	13,950	260	△ 123	13,813
終身共済	488	△ 269	△ 110	868
終身生命	11	△ 77	△ 38	127
終身医療	476	△ 192	△ 72	741

(参考)



③ 各コース・各契約への割当

①②で決められた契約者割戻準備金繰入額を、各コースおよび各契約に割り当てた結果は次のとおりです。

ア) 生命共済・住宅災害共済・こども共済

契約者割戻準備金は、基本契約(死亡・重度障害の保障部分)および特約(入院、通院等の保障部分)ごとの支払率等にもとづき、コースごとに割り当てます。

2019年度決算にもとづく生命共済、住宅災害共済、こども共済の各コースの受入共済掛金に対する割戻率は、次表のとおりです。

生命共済・住宅災害共済

(単位：%)

コース	割戻率	コース	割戻率	コース	割戻率	コース	割戻率
700	22.7	1700	20.5	2700	20.9	3900	20.7
C1000	20.7	C1600	20.5	L2000	22.7	L3000	21.9
L4000	22.5	V1000	20歳未満／32.8 20歳以上／20.5	V2000	21.3	V4000	21.3
R3000	19.5	R4000	20.2	W1000	20.6	W2000	20.5
S1200	10.4	S3000	10.8	先進医療	0.0		

注1. 上記割戻率は、生命共済事業と住宅災害共済事業を合算した率です。また、300円コースは29.0%、400円コースは27.7%、1000円コースは21.6%となります。

注2. V1000円コースは発効日時点の年齢が20歳未満か20歳以上かによって付帯する特約が異なるため、割戻率も20歳未満と20歳以上で分割して設定します。

注3. 生命共済事業の先進医療特約にはプラチナ85に付帯する先進医療特約も含まれます。なお、2019年度は前年度同様、生命共済事業の先進医療特約の共済金支払いが多く発生した影響により割戻率は0%です。

こども共済

(単位：%)

コース	割戻率	コース	割戻率	コース	割戻率	コース	割戻率	コース	割戻率
J1000	16.4	J1600	16.7	J1900	3.2	J2000	16.6	先進医療	40.7

イ) 定期生命共済

共済契約ごとの契約者割戻金の額は、加入コース、年齢、性別等によって異なり、原則として満期まで積み立ててお支払いします。

2019年度決算にもとづく定期生命共済事業（CO・OP共済《あいづらす》）の共済契約ごとの契約者割戻金の概要は次のとおりです。

2018年度決算にもとづく契約者割戻しの状況

共済契約ごとの契約者割戻金は次の（１）～（３）の合計額です。合計額がマイナスの場合はゼロとしています。

（１）費差割戻金（年額）

→ 共済金額に費差割戻率を乗じた額

例：発効時年齢30歳、月払、共済期間10年

※ 発効時年齢とは発効日時点の満年齢をいいます。

● 基本契約（生命保障300万円）

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	66円	75円
2013年9月2日以降	△135円	△135円

● 入院特約合計（日額5,000円）

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	145円	149円
2013年9月2日以降	△122円	△96円

● がん特約（がん治療共済金100万円*）

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	40円	24円
2013年9月2日以降	△81円	△45円

* 発効時期が「2006年9月1日～2013年9月1日」は、がん診断共済金100万円付がん特約の割戻金額です。

（２）利差割戻金（年額）

→ 共済掛金積立金に利差割戻率を乗じた額

【利差割戻率】

予定利率0.6%の契約（発効時期が2013年9月2日以降の契約）：
0.26%

予定利率1.75%の契約（発効時期が2013年9月1日以前の契約）：
△0.89%

2019年度決算にもとづく契約者割戻しの状況

共済契約ごとの契約者割戻金は次の（１）～（３）の合計額です。合計額がマイナスの場合はゼロとしています。

（１）費差割戻金（年額）

→ 共済金額に費差割戻率を乗じた額

例：発効時年齢30歳、月払、共済期間10年

※ 発効時年齢とは発効日時点の満年齢をいいます。

● 基本契約（生命保障300万円）

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	42円	48円
2013年9月2日以降	△171円	△171円

● 入院特約合計（日額5,000円）

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	93円	95円
2013年9月2日以降	△154円	△120円

● がん特約（がん治療共済金100万円*）

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	26円	16円
2013年9月2日以降	△101円	△55円

* 発効時期が「2006年9月1日～2013年9月1日」は、がん診断共済金100万円付がん特約の割戻金額です。

（２）利差割戻金（年額）

→ 共済掛金積立金に利差割戻率を乗じた額

【利差割戻率】

予定利率0.6%の契約（発効時期が2013年9月2日以降の契約）：
0.20%

予定利率1.75%の契約（発効時期が2013年9月1日以前の契約）：
△0.95%

(3) 危険差割戻金 (年額)

→ 共済金額に危険差割戻率を乗じた額

例：発効時年齢30歳、経過年数0年、共済期間10年

※ 発効時年齢とは発効日時点の満年齢をいいます。

※ 経過年数とは、発効日から2019年3月20日までの経過年数をいい、年未満は切捨てとします。

● 基本契約 (生命保障300万円)

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	240円	1,080円
2013年9月2日以降	690円	870円

● 入院特約合計 (入院日額5,000円)

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	1,990円	7,100円
2013年9月2日以降	405円	1,330円

● がん特約 (がん治療共済金100万円*)

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	320円	430円
2013年9月2日以降	900円	360円

* 発効時期が「2006年9月1日～2013年9月1日」は、がん診断共済金100万円付がん特約の割戻金額です。

2018年度決算にもとづく契約者割戻金 (年額) の例

例1：月払、共済期間10年、 入院 (日額5,000円) 付生命300万円コース

発効時年齢	発効時期	女性	男性
30歳	2006年9月1日～2013年9月1日	2,311円 (11.0%)	8,520円 (36.0%)
	2013年9月2日以降	838円 (4.3%)	1,959円 (12.4%)
40歳	2006年9月1日～2013年9月1日	4,358円 (16.9%)	10,807円 (32.2%)
	2013年9月2日以降	1,916円 (8.5%)	3,627円 (13.7%)

※ 経過年数を1年としています。

※ 括弧内の割合は割戻金の年換算共済掛金に対する割合です。

(3) 危険差割戻金 (年額)

→ 共済金額に危険差割戻率を乗じた額

例：発効時年齢30歳、経過年数0年、共済期間10年

※ 発効時年齢とは発効日時点の満年齢をいいます。

※ 経過年数とは、発効日から2020年3月20日までの経過年数をいい、年未満は切捨てとします。

● 基本契約 (生命保障300万円)

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	300円	900円
2013年9月2日以降	720円	720円

● 入院特約合計 (入院日額5,000円)

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	1,935円	7,100円
2013年9月2日以降	350円	1,330円

● がん特約 (がん治療共済金100万円*)

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	170円	430円
2013年9月2日以降	800円	260円

* 発効時期が「2006年9月1日～2013年9月1日」は、がん診断共済金100万円付がん特約の割戻金額です。

2019年度決算にもとづく契約者割戻金 (年額) の例

例1：月払、共済期間10年、 入院 (日額5,000円) 付生命300万円コース

発効時年齢	発効時期	女性	男性
30歳	2006年9月1日～2013年9月1日	2,239円 (10.6%)	8,254円 (34.9%)
	2013年9月2日以降	770円 (4.0%)	1,684円 (10.6%)
40歳	2006年9月1日～2013年9月1日	4,175円 (16.1%)	10,541円 (31.4%)
	2013年9月2日以降	1,772円 (7.9%)	3,374円 (12.7%)

※ 経過年数を1年としています。

※ 括弧内の割合は割戻金の年換算共済掛金に対する割合です。

**例2：月払、共済期間10年、
入院（日額5,000円）付生命300万円コース
（がん治療共済金100万円付がん特約付帯*）**

発効時年齢	発効時期	女性	男性
30歳	2006年9月1日～ 2013年9月1日	2,640円 (9.8%)	8,986円 (33.4%)
	2013年9月2日以降	1,730円 (5.8%)	2,294円 (11.7%)
40歳	2006年9月1日～ 2013年9月1日	5,111円 (13.0%)	12,737円 (29.4%)
	2013年9月2日以降	5,176円 (11.9%)	5,198円 (14.3%)

※経過年数を1年としています。

※括弧内の割合は割戻金の年換算共済掛金に対する割合です。

*発効時期が「2006年9月1日～2013年9月1日」は、がん診断共済金100万円付がん特約付帯の割戻金額です。

**例2：月払、共済期間10年、
入院（日額5,000円）付生命300万円コース
（がん治療共済金100万円付がん特約付帯*）**

発効時年齢	発効時期	女性	男性
30歳	2006年9月1日～ 2013年9月1日	2,394円 (8.9%)	8,702円 (32.4%)
	2013年9月2日以降	1,521円 (5.1%)	1,909円 (9.7%)
40歳	2006年9月1日～ 2013年9月1日	4,761円 (12.1%)	12,549円 (28.9%)
	2013年9月2日以降	5,100円 (11.8%)	4,705円 (12.9%)

※経過年数を1年としています。

※括弧内の割合は割戻金の年換算共済掛金に対する割合です。

*発効時期が「2006年9月1日～2013年9月1日」は、がん診断共済金100万円付がん特約付帯の割戻金額です。

ウ) 終身共済

共済契約ごとの契約者割戻金の額は、加入コース、年齢、性別等によって異なり、原則として契約終了まで積み立ててお支払いします。

2019年度決算にもとづく終身共済事業（《ずっとあい》終身生命・終身医療）の共済契約ごとの契約者割戻金の概要は次のとおりです。

2018年度決算にもとづく契約者割戻しの状況

共済契約ごとの契約者割戻金は次の（1）～（3）の合計額です。合計額がマイナスの場合はゼロとしています。

（1）費差割戻金（年額）

➡共済金額に費差割戻率を乗じた額

例：発効時年齢30歳、月払、終身払

※発効時年齢とは発効日時点の満年齢をいいます。

	女性	男性
終身生命（300万円コース）	△1,050円	△1,170円
終身医療（入院日額5,000円コース）	△50円	△45円

（2）利差割戻金（年額）

➡共済掛金積立金に利差割戻率を乗じた額

【利差割戻率】

	一時払	一時払以外
終身生命	△0.07%	△0.17%
終身医療	—	△0.07%

※終身医療には一時払はありません。

2019年度決算にもとづく契約者割戻しの状況

共済契約ごとの契約者割戻金は次の（1）～（3）の合計額です。合計額がマイナスの場合はゼロとしています。

（1）費差割戻金（年額）

➡共済金額に費差割戻率を乗じた額

例：発効時年齢30歳、月払、終身払

※発効時年齢とは発効日時点の満年齢をいいます。

	女性	男性
終身生命（300万円コース）	△630円	△690円
終身医療（入院日額5,000円コース）	△575円	△600円

（2）利差割戻金（年額）

➡共済掛金積立金に利差割戻率を乗じた額

【利差割戻率】

	一時払	一時払以外
終身生命	△0.11%	△0.21%
終身医療	—	△0.25%

※終身医療には一時払はありません。

(3) 危険差割戻金(年額)

→ 共済金額に危険差割戻率を乗じた額

例：発効時年齢30歳、経過年数0年、終身払

※ 発効時年齢とは発効日時点の満年齢をいいます。

※ 経過年数とは、発効日から2019年3月20日までの経過年数をいい、年未満は切捨てとします。

	女性	男性
終身生命(300万円コース)	270円	600円
終身医療(入院日額5,000円コース)	350円	585円

2018年度決算にもとづく契約者割戻金(年額)の例

例1：月払、終身払、終身生命300万円コース

発効時年齢	女性	男性
30歳	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)
40歳	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)

※経過年数を1年としています。

※括弧内の割合は割戻金の年換算共済掛金に対する割合です。

例2：月払、終身払、終身医療 日額5,000円コース

発効時年齢	女性	男性
30歳	275円 (1.0%)	536円 (1.8%)
40歳	512円 (1.5%)	1,079円 (2.7%)

※経過年数を1年としています。

※括弧内の割合は割戻金の年換算共済掛金に対する割合です。

(3) 危険差割戻金(年額)

→ 共済金額に危険差割戻率を乗じた額

例：発効時年齢30歳、経過年数0年、終身払

※ 発効時年齢とは発効日時点の満年齢をいいます。

※ 経過年数とは、発効日から2020年3月20日までの経過年数をいい、年未満は切捨てとします。

	女性	男性
終身生命(300万円コース)	120円	390円
終身医療(入院日額5,000円コース)	815円	1,015円

2019年度決算にもとづく契約者割戻金(年額)の例

例1：月払、終身払、終身生命300万円コース

発効時年齢	女性	男性
30歳	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)
40歳	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)

※経過年数を1年としています。

※括弧内の割合は割戻金の年換算共済掛金に対する割合です。

例2：月払、終身払、終身医療 日額5,000円コース

発効時年齢	女性	男性
30歳	231円 (0.9%)	416円 (1.4%)
40歳	17円 (0.1%)	948円 (2.4%)

※経過年数を1年としています。

※括弧内の割合は割戻金の年換算共済掛金に対する割合です。

16 再共済(再保険)実施状況

◆再共済(再保険)を引き受けた主要な保険会社等

(単位：社)

項 目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
再共済、再保険を引き受けた会社等	2	2	2	2	2

注1. 消費生活協同組合法施行規則第180条にもとづいて共済掛金積立金を積み立てないとした第三分野共済については該当がありません。

◆支払再共済掛金(再保険料)の上位を占める5社の割合

(単位：%)

項 目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
支払再共済掛金(再保険料)の上位を占める5社の割合	100	100	100	100	100

注1. 消費生活協同組合法施行規則第180条にもとづいて共済掛金積立金を積み立てないとした第三分野共済については該当がありません。

◆ 格付区分ごとの支払再共済掛金(再保険料)の割合

(単位: %)

項 目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
A以上	56	66	69	73	76
BBB以上	—	—	—	—	—
その他(格付けなし)	44	34	31	27	24

注1. 消費生活協同組合法施行規則第180条にもとづいて共済掛金積立金を積み立てないとした第三分野共済については該当がありません。

◆ 未収再共済(再保険)金

(単位: 千円/千円未満切り捨て)

項 目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
未収再共済金	56,842	66,675	118,262	199,359	265,572
未収再保険金					

注1. 消費生活協同組合法施行規則第180条にもとづいて共済掛金積立金を積み立てないとした第三分野共済については該当がありません。

17 第三分野共済の共済契約に係る給付事由又は共済事業の種類ごとの発生共済金額の経過共済掛金に対する割合

(単位: %)

科 目	2018年度	2019年度
第三分野 計	42.2	43.1
医療	42.3	43.8
がん	45.8	45.9
介護	—	—
その他	41.0	40.2

※ 第三分野に該当する保障内容(入院、手術、災害通院、災害死亡等)を対象としています。「医療」は疾病に関する保障(疾病と災害がセットになっている保障を含みます)、「がん」は定期生命共済のがん特約、「その他」は災害に関する保障が該当します。

※ 発生共済金額は「支払共済金」「対応する支払備金繰入額」および「共済金支払いに係る事業経費」の合計額、経過共済掛金は受入共済掛金のうち、当該事業年度の経過期間に相当する金額です。

※ 「消費生活協同組合法施行規則」の改正により、本項目は2018年度以降の数値を記載しています。

18 契約年度別責任準備金残高および予定利率

(単位: 百万円/百万円未満切り捨て、%)

契約年度	責任準備金残高					予定利率
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
～1980年度	—	—	—	—	—	—
1981年度～1985年度	—	—	—	—	—	—
1986年度～1990年度	—	—	—	—	—	—
1991年度～1995年度	—	—	—	—	—	—
1996年度～2000年度	0	0	0	0	0	1.75
2001年度～2005年度	2,256	1,829	1,284	657	188	1.75
2006年度	2,031	1,510	1,300	1,021	676	1.75
2007年度	3,037	2,294	1,758	1,506	1,186	1.75
2008年度	3,940	3,433	2,689	2,138	1,835	1.75
2009年度	4,441	4,159	3,652	2,909	2,346	1.75
2010年度	4,119	4,014	3,696	3,162	2,421	1.75
2011年度	9,190	10,272	11,069	11,608	11,880	1.40～1.75
2012年度	12,431	14,877	16,862	18,512	19,824	1.40～1.75
2013年度	9,023	11,720	13,934	15,751	17,278	0.60～1.75
2014年度	5,541	8,523	11,013	13,075	14,746	0.60～1.50
2015年度	2,074	5,772	8,899	11,520	13,676	0.60～1.50
2016年度	—	2,218	5,983	9,161	11,817	0.60～1.50
2017年度	—	—	2,295	5,936	9,035	0.60～1.50
2018年度	—	—	—	1,924	5,403	0.60～1.50
2019年度	—	—	—	—	1,988	0.60～1.50

注1. 責任準備金残高には、予定利率を有する共済掛金積立金を記載しています。

2. 予定利率については、各契約年度ごとの共済掛金積立金に係る主な予定利率を記載しています。

19 受託共済の状況

◆実施会員数

(単位：会員)

受託共済の種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	前年度差
火災共済	126	126	127	127	127	0
《新あいあい》	48	48	48	49	49	0

注1. 火災共済（火災共済・自然災害共済）、《新あいあい》（個人長期生命共済）

◆加入者数（契約件数）

(単位：人または件、%)

受託共済の種類	元受団体	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度	
							前年度差	前年度比
火災共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	401,654	399,531	400,853	402,372	404,505	2,133	100.5
自然災害共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	151,126	159,553	167,057	175,275	185,416	10,141	105.8
《あいあい》	全国労働者共済生活協同組合連合会・コープ共済連	172	52	—	—	—	—	—
《新あいあい》	全国労働者共済生活協同組合連合会	28,847	27,208	26,054	24,846	23,949	△ 897	96.4
合 計		581,799	586,344	593,964	602,493	613,870	11,377	101.9

注1. 自然災害共済は、火災共済に付帯できる制度であり、単独では加入できません。

2. CO・OP生命共済《あいあい》は、全国労働者共済生活協同組合連合会とコープ共済連で共同引受しています。CO・OP生命共済《あいあい》は、募集を停止しました。

◆共済掛金*

(単位：千円/千円未満切り捨て、%)

受託共済の種類	元受団体	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
							前年度差	前年度比
火災共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	4,623,724	4,560,843	4,595,939	4,621,198	4,658,497	37,299	100.8
自然災害共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	2,853,726	3,173,021	3,358,520	3,548,211	3,759,389	211,178	106.0
《あいあい》	全国労働者共済生活協同組合連合会・コープ共済連	26,838	10,429	220	—	—	—	—
《新あいあい》	全国労働者共済生活協同組合連合会	4,391,549	4,186,696	4,078,138	3,954,864	3,845,771	△ 109,093	97.2
合 計		11,895,838	11,930,990	12,032,817	12,124,274	12,263,658	139,384	101.1

◆共済金支払件数*

(単位：件、%)

受託共済の種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度		
						前年度差	前年度比	
元受団体								
火災共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	3,307	3,607	4,728	12,508	8,650	△ 3,858	69.2
自然災害共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	1,450	2,677	1,973	6,650	4,191	△ 2,459	63.0
《あいあい》	全国労働者共済生活協同組合連合会・コープ共済連	221	183	54	6	2	△ 4	33.3
《新あいあい》	全国労働者共済生活協同組合連合会	5,275	4,728	4,722	4,584	4,795	211	104.6
合 計		10,253	11,195	11,477	23,748	17,638	△ 6,110	74.3

◆支払共済金額*

(単位：千円/千円未満切り捨て、%)

受託共済の種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度		
						前年度差	前年度比	
元受団体								
火災共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	947,861	1,036,750	1,265,026	2,660,206	1,952,060	△ 708,146	73.4
自然災害共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	498,255	1,332,583	666,443	3,173,763	1,986,198	△ 1,187,565	62.6
《あいあい》	全国労働者共済生活協同組合連合会・コープ共済連	42,667	61,293	12,985	7,628	1,136	△ 6,492	14.9
《新あいあい》	全国労働者共済生活協同組合連合会	669,090	429,620	607,750	601,987	641,030	39,043	106.5
合 計		2,157,874	2,860,247	2,552,206	6,443,585	4,580,425	△ 1,863,160	71.1

* CO・OP生命共済《あいあい》の共済掛金、共済金支払件数および支払共済金額は、全国労働者共済生活協同組合連合会元受部分の金額を表示しています。

2

経理に関する指標

1 責任準備金の積立方式および積立率

(単位：%)

項 目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
積 立 方 式	平準純共済掛金式	平準純共済掛金式	平準純共済掛金式	平準純共済掛金式	平準純共済掛金式
積 立 率	100	100	100	100	100

注1. 積立率は「(実際に積み立てている共済掛金積立金+未経過共済掛金)÷(平準純共済掛金式による共済掛金積立金+未経過共済掛金)×100%」の値です。

2 契約者割戻準備金明細

(単位：千円/千円未満切り捨て)

共済事業の種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
生命共済・住宅災害共済	15,881,000	15,819,000	15,563,014	15,563,000	15,648,304
こども共済	5,011,000	5,076,000	5,295,002	5,326,000	5,316,000
定期生命共済	47,396,873	50,487,166	54,140,759	57,593,198	60,639,959
終身共済	—	—	393,000	818,038	1,264,028
合 計	68,288,873	71,382,166	75,391,776	79,300,237	82,868,292

3 引当金明細表

(単位：千円/千円未満切り捨て)

項 目		2015年度末 残高	2016年度末 残高	2017年度末 残高	2018年度末 残高	2019年度末 残高	当期増減額
貸倒引当金	一般貸倒引当金	—	—	—	—	—	—
	個別貸倒引当金	—	—	—	—	—	—
小 計		—	—	—	—	—	—
諸引当金	賞与引当金	184,691	179,107	198,505	200,456	213,428	12,972
	退職給付引当金	809,872	965,588	1,110,394	1,285,216	1,460,681	175,465
	大震災共済金引当金	—	—	—	—	—	—
小 計		994,563	1,144,696	1,308,900	1,485,672	1,674,110	188,438
価格変動準備金		2,510,980	2,974,680	3,660,780	4,176,880	4,811,180	634,300
合 計		3,505,543	4,119,376	4,969,680	5,662,552	6,485,290	822,738

4 法定準備金および任意積立金明細（剰余金処分前）

（単位：千円/千円未満切り捨て）

区 分		当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
2015年度	法定準備金	7,146,000	1,844,000	—	8,990,000
	任意積立金	24,109,065	6,741,730	726,992	30,123,803
	事業継続計画対応積立金	500,795	—	396,378	104,416
	異常災害見舞金積立金	8,338,270	931,730	4,280	9,265,720
	事務システム整備積立金	1,000,000	1,700,000	326,333	2,373,666
	財務基盤強化積立金	14,270,000	4,110,000	—	18,380,000
	合 計	31,255,065	8,585,730	726,992	39,113,803
2016年度	法定準備金	8,990,000	2,080,000	—	11,070,000
	任意積立金	30,123,803	8,622,280	1,210,556	37,535,526
	事業継続計画対応積立金	104,416	—	104,416	—
	異常災害見舞金積立金	9,265,720	1,042,280	231,460	10,076,540
	事務システム整備積立金	2,373,666	3,300,000	834,692	4,838,973
	財務基盤強化積立金	18,380,000	4,080,000	—	22,460,000
	加入者貢献積立金	—	200,000	39,987	160,012
	合 計	39,113,803	10,702,280	1,210,556	48,605,526
2017年度	法定準備金	11,070,000	2,080,000	—	13,150,000
	任意積立金	37,535,526	9,650,447	2,393,408	44,792,565
	異常災害見舞金積立金	10,076,540	1,270,460	12,780	11,334,220
	事務システム整備積立金	4,838,973	1,700,000	2,126,891	4,412,082
	財務基盤強化積立金	22,460,000	6,220,000	—	28,680,000
	加入者貢献積立金	160,012	459,987	253,736	366,263
	合 計	48,605,526	11,730,447	2,393,408	57,942,565
2018年度	法定準備金	13,150,000	2,050,000	—	15,200,000
	任意積立金	44,792,565	10,838,516	3,549,955	52,081,127
	異常災害見舞金積立金	11,334,220	1,034,780	51,245	12,317,754
	事務システム整備対応積立金	4,412,082	1,750,000	3,212,333	2,949,748
	加入者貢献積立金	366,263	253,736	286,375	333,624
	財務基盤強化積立金	28,680,000	7,800,000	—	36,480,000
	合 計	57,942,565	12,888,516	3,549,955	67,281,127
2019年度	法定準備金	15,200,000	1,760,000	—	16,960,000
	任意積立金	52,081,127	8,770,621	1,801,667	59,050,080
	異常災害見舞金積立金	12,317,754	244,245	7,941	12,554,058
	事務システム整備対応積立金	2,949,748	2,390,000	1,590,087	3,749,660
	加入者貢献積立金	333,624	286,375	203,638	416,361
	財務基盤強化積立金	36,480,000	5,850,000	—	42,330,000
	合 計	67,281,127	10,530,621	1,801,667	76,010,080

5 事業経費の明細

(単位：千円/千円未満切り捨て、%)

科 目	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
人件費	6,016,206	12.0	6,306,105	12.1	6,234,455	11.5	6,707,684	11.8	7,101,560	12.4
物件費	19,805,497	39.6	19,797,831	37.9	21,592,674	39.9	23,494,909	41.4	23,510,534	40.9
共済委託手数料	24,168,203	48.3	26,164,949	50.1	26,306,079	48.6	26,580,822	46.8	26,850,811	46.7
合 計	49,989,908	100.0	52,268,886	100.0	54,133,209	100.0	56,783,415	100.0	57,462,907	100.0

6 経常剰余金

(単位：千円/千円未満切り捨て)

共済事業の種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
生命共済・住宅災害共済	24,398,290	24,239,893	23,423,888	22,243,928	23,318,628
こども共済	6,335,706	6,528,628	6,739,685	7,102,101	7,350,260
定期生命共済	16,667,458	16,318,628	16,945,276	17,034,551	17,827,776
終身共済	336,490	855,678	1,328,276	742,641	608,524
部門外勘定	429,929	389,167	779,495	608,503	873,010
その他事業	107,411	55,435	26,904	11,950	△ 32,114
合 計	48,275,286	48,387,431	49,243,525	47,743,676	49,946,086

7 支払率

(単位：%)

共済事業の種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
生命共済・住宅災害共済	37.7	36.9	37.1	36.9	37.0
こども共済	47.4	46.9	46.0	45.5	45.7
定期生命共済	33.1	34.9	34.6	35.4	35.6
終身共済	15.2	14.3	15.6	16.0	16.8

注1. 支払率＝正味共済金(支払共済金－受入共済金－支払備金戻入額＋支払備金繰入額)÷正味共済掛金(受入共済掛金－支払共済掛金＋未経過共済掛金戻入額－未経過共済掛金繰入額)

8 事業費率

(単位：%)

共済事業の種類	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
生命共済・住宅災害共済	30.2	31.3	31.9	32.6	31.1
こども共済	26.8	27.1	27.9	27.9	28.5
定期生命共済	27.4	28.2	28.7	29.3	29.4
終身共済	25.9	24.3	21.9	23.6	25.4

注1. 事業費率＝(事業経費－受入受託手数料)÷正味共済掛金

3

資産運用に関する指標

1 主要資産の区分別平均残高および運用利回り

(単位：百万円/百万円未満切り捨て、%)

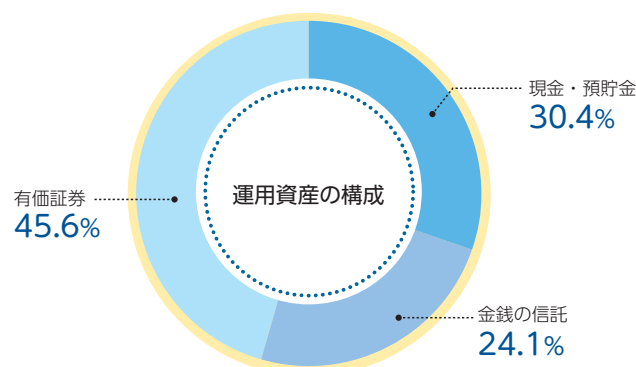
資 産	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
	平均残高	利回り	平均残高	利回り	平均残高	利回り	平均残高	利回り	平均残高	利回り
現金・預貯金	46,231	0.06	82,923	0.04	105,558	0.04	115,982	0.03	136,610	0.03
コールローン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買現先勘定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金銭の信託	32,051	1.26	44,840	0.80	50,266	1.55	54,010	1.18	66,706	1.42
有価証券	195,191	0.50	176,747	0.56	178,459	0.58	194,683	0.56	191,264	0.57
譲渡性預金	80,610	—	48,883	—	30,556	0.04	36,430	0.02	39,040	0.02
公社債	114,325	—	127,608	—	147,648	0.69	157,998	0.68	151,968	0.71
株式	255	—	255	—	255	—	255	0.98	255	0.98
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	273,474	0.51	304,511	0.46	334,285	0.55	364,677	0.48	394,581	0.53

2 主要資産の区分別構成および増減

《運用資産の構成》

(単位：百万円/百万円未満切り捨て、%)

資 産	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度		
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	増減額
現金・預貯金	58,583	19.7	101,406	31.2	121,761	34.1	132,718	34.3	125,979	30.4	△ 6,738
コールローン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買現先勘定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金銭の信託	36,792	12.4	50,143	15.4	55,647	15.6	55,966	14.5	99,876	24.1	43,910
有価証券	201,775	67.9	173,974	53.4	179,958	50.4	198,482	51.3	189,000	45.6	△ 9,481
譲渡性預金	81,000	27.3	36,000	11.1	29,000	8.1	41,000	10.6	38,000	9.2	△ 3,000
公社債	120,520	40.6	137,719	42.3	150,703	42.2	157,226	40.6	150,744	36.3	△ 6,481
株式	255	0.1	255	0.1	255	0.1	255	0.1	255	0.1	0
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	297,151	100.0	325,525	100.0	357,367	100.0	387,166	100.0	414,856	100.0	27,690



3 区分別の資産運用収益明細

(単位:千円)

区 分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
利息および配当金等収入	998,538	1,027,290	1,070,337	1,116,460	1,124,252
金銭の信託運用益	403,452	360,178	778,456	635,986	949,118
有価証券運用益	—	5,033	1,055	—	550
合 計	1,401,991	1,392,502	1,849,849	1,752,446	2,073,920

4 区分別の資産運用費用明細

(単位:千円)

区 分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
支払利息	—	—	—	—	—
金銭の信託運用費	—	—	—	—	—
有価証券売却損	—	—	—	—	—
有価証券評価損	—	—	—	—	—
有価証券運用損	—	—	—	—	—
その他の運用費用	64,588	106,078	120,725	128,703	155,984
合 計	64,588	106,078	120,725	128,703	155,984

5 利息および配当金収入明細

(単位:千円)

科 目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
預金利息	29,336	35,363	38,937	34,420	38,452
有価証券利息配当金	969,201	991,926	1,031,399	1,082,039	1,085,800
公社債利息	884,791	948,159	1,018,213	1,071,578	1,074,715
譲渡性預金利息	84,409	43,766	13,186	7,962	8,585
投資信託受益証券配当金	—	—	—	—	—
株式配当金	—	—	—	2,499	2,499
外国証券等利息配当金	—	—	—	—	—
貸付金利息	—	—	—	—	—
不動産賃貸利息	—	—	—	—	—
その他の利息及び配当金	—	—	—	—	—

6 有価証券の種類別・残存期間別残高

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2015年度							
	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の ないもの	合計
公社債(自家運用)	9,522	31,009	24,290	15,033	14,534	26,130	—	120,520
国債	7,021	21,017	8,057	8,645	11,535	24,272	—	80,550
地方債	500	2,021	7,222	3,786	2,904	—	—	16,435
財投機関債(特殊法人債)	1,899	2,123	841	1,452	94	1,858	—	8,271
金融債	—	3,424	3,122	—	—	—	—	6,547
事業債	99	2,421	5,045	1,147	—	—	—	8,715
その他	65,500	15,500	—	—	—	—	255	81,255
譲渡性預金	65,500	15,500	—	—	—	—	—	81,000
株式	—	—	—	—	—	—	255	255
投資信託	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	75,022	46,509	24,290	15,033	14,534	26,130	255	201,775

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2016年度							
	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の ないもの	合計
公社債(自家運用)	14,865	32,135	20,469	15,428	13,167	41,652	—	137,719
国債	10,354	15,938	6,961	8,434	7,420	36,282	—	85,392
地方債	1,001	5,724	6,634	2,166	4,744	2,014	—	22,285
財投機関債(特殊法人債)	1,303	810	1,880	1,742	699	2,854	—	9,289
金融債	1,703	4,330	904	—	102	—	—	7,040
事業債	502	5,331	4,089	3,085	200	501	—	13,710
その他	34,000	2,000	—	—	—	—	255	36,255
譲渡性預金	34,000	2,000	—	—	—	—	—	36,000
株式	—	—	—	—	—	—	255	255
投資信託	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	48,865	34,135	20,469	15,428	13,167	41,652	255	173,974

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2017年度							
	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の ないもの	合計
公社債(自家運用)	15,943	24,030	22,740	20,249	9,493	58,245	—	150,703
国債	10,526	7,970	8,593	11,125	403	49,734	—	88,353
地方債	1,005	7,105	5,156	4,303	6,967	3,371	—	27,908
財投機関債(特殊法人債)	803	823	2,570	1,541	903	4,236	—	10,879
金融債	1,704	3,110	1,799	101	512	—	—	7,229
事業債	1,904	5,021	4,620	3,175	706	902	—	16,331
その他	29,000	—	—	—	—	—	255	29,255
譲渡性預金	29,000	—	—	—	—	—	—	29,000
株式	—	—	—	—	—	—	255	255
投資信託	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	44,943	24,030	22,740	20,249	9,493	58,245	255	179,958

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2018年度							
	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の ないもの	合計
公社債 (自家運用)	15,732	20,219	20,036	21,676	6,664	72,896	—	157,226
国債	5,305	6,882	8,425	7,415	416	59,186	—	87,631
地方債	4,620	6,524	2,148	9,467	4,339	5,174	—	32,274
財投機関債 (特殊法人債)	—	1,842	2,849	1,126	1,709	7,633	—	15,161
金融債	2,602	901	1,402	616	—	—	—	5,523
事業債	3,203	4,068	5,211	3,050	198	902	—	16,634
その他	41,000	—	—	—	—	—	255	41,255
譲渡性預金	41,000	—	—	—	—	—	—	41,000
株式	—	—	—	—	—	—	255	255
投資信託	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	56,732	20,219	20,036	21,676	6,664	72,896	255	198,482

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2019年度							
	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の ないもの	合計
公社債 (自家運用)	8,126	22,443	23,193	14,613	3,004	79,363	—	150,744
国債	2,608	8,543	11,120	402	414	61,316	—	84,406
地方債	2,408	5,072	5,086	8,883	1,307	6,705	—	29,463
財投機関債 (特殊法人債)	804	2,539	2,031	2,101	1,082	10,438	—	18,997
金融債	500	1,801	101	511	—	—	—	2,915
事業債	1,803	4,486	4,854	2,715	200	902	—	14,961
その他	38,000	—	—	—	—	—	255	38,255
譲渡性預金	38,000	—	—	—	—	—	—	38,000
株式	—	—	—	—	—	—	255	255
投資信託	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	46,126	22,443	23,193	14,613	3,004	79,363	255	189,000

注1. 区分は「3.②運用資産の構成」における有価証券残高の内訳です。

7 業種別保有株式の額・貸付金関連・海外投資関連

■ 業種別保有株式の額

投資目的の株式に該当するものではありません。

■ 貸付金関連

貸付金に該当するものではありません。

■ 海外投資関連

《海外投資残高》

(単位：百万円/百万円未満切り捨て、%)

区 分	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
外貨建資産	1,683	7.6	—	—	—	—	—	—	—	—
公社債	1,683	7.6	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
円貨額が確定した外貨建資産	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
円貨建資産	20,415	92.4	28,232	100.0	30,068	100.0	30,629	100.0	34,369	100.0
公社債	20,415	92.4	28,232	100.0	30,068	100.0	29,613	96.7	32,317	94.0
その他	—	—	—	—	—	—	1,016	3.3	2,051	6.0
合 計	22,098	100.0	28,232	100.0	30,068	100.0	30,629	100.0	34,369	100.0

《海外投資地域別構成》

(単位：百万円/百万円未満切り捨て、%)

区 分	2015年度				2016年度				2017年度			
	公社債		その他		公社債		その他		公社債		その他	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
北米	12,063	54.6	—	—	18,920	67.0	—	—	18,709	62.2	—	—
ヨーロッパ	4,897	22.2	—	—	5,766	20.4	—	—	6,299	21.0	—	—
アジア	3,167	14.3	—	—	1,192	4.2	—	—	1,946	6.5	—	—
中南米	1,395	6.3	—	—	1,328	4.7	—	—	2,199	7.3	—	—
その他	574	2.6	—	—	1,024	3.6	—	—	913	3.0	—	—
合 計	22,098	100.0	—	—	28,232	100.0	—	—	30,068	100.0	—	—
区 分	2018年度				2019年度							
	公社債		その他		公社債		その他					
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比				
北米	18,631	62.9	468	46.1	18,652	57.7	988	48.2				
ヨーロッパ	5,840	19.7	312	30.7	7,827	24.2	613	29.9				
アジア	1,557	5.3	235	23.2	1,422	4.4	449	21.9				
中南米	2,105	7.1	0	0.0	2,371	7.3	0	0.0				
その他	1,477	5.0	0	0.0	2,043	6.3	0	0.0				
合 計	29,613	100.0	1,016	100.0	32,317	100.0	2,051	100.0				

《海外投資運用利回り》

(単位：%)

区 分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
海外投資運用利回り	1.36	1.01	1.84	1.22	0.79

8 リスク管理債権の状況

「破綻先債権・延滞債権・3か月以上延滞債権・貸付条件緩和債権」に該当するものではありません。

9 債務者区分による債権の状況

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	—	—	—	—	—
危険債権	—	—	—	—	—
要管理債権	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—
正常債権	7,226	7,433	6,986	8,075	8,582
合 計	7,226	7,433	6,986	8,075	8,582

- 注1. 「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続き等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受け取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは3か月以上延滞貸付金および条件緩和貸付金です。なお、3か月以上延滞貸付金とは、元本または利息の支払が、約定支払日の翌日から3か月以上遅延している貸付金（1および2に掲げる債権を除く）であり、条件緩和貸付金とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸付金（1および2に掲げる債権ならびに3か月以上延滞貸付金を除く）です。
4. 「正常債権」とは、債権者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権です。

10 有価証券および金銭の信託の時価情報

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2015年度				
	簿価	貸借対照表 計上額		差額	
				うち差益	うち差損
満期保有目的の債券	60,083	60,083	—	—	—
満期保有目的の譲渡性預金	81,000	81,000	—	—	—
その他有価証券	95,783	97,484	1,701	2,032	330
金銭の信託	35,709	36,792	1,082	1,412	329
公社債	59,818	60,436	618	619	0
株式	255	255	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—
合 計	236,866	238,568	1,701	2,032	330

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2016年度				
	簿価	貸借対照表 計上額		差額	
				うち差益	うち差損
満期保有目的の債券	73,967	73,967	—	—	—
満期保有目的の譲渡性預金	36,000	36,000	—	—	—
その他有価証券	112,316	114,150	1,834	2,069	234
金銭の信託	48,718	50,143	1,425	1,636	211
公社債	63,342	63,751	409	432	23
株式	255	255	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—
合 計	222,283	224,118	1,834	2,069	234

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2017年度				
	簿価	貸借対照表 計上額		差額	
				うち差益	うち差損
満期保有目的の債券	88,121	88,121	—	—	—
満期保有目的の譲渡性預金	29,000	29,000	—	—	—
その他有価証券	116,651	118,484	1,833	2,196	363
金銭の信託	53,998	55,647	1,648	1,995	346
公社債	62,397	62,581	184	201	17
株式	255	255	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—
合 計	233,772	235,605	1,833	2,196	363

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2018年度				
	簿価	貸借対照表 計上額		差額	
				うち差益	うち差損
満期保有目的の債券	101,048	101,048	—	—	—
満期保有目的の譲渡性預金	41,000	41,000	—	—	—
その他有価証券	110,919	112,399	1,479	2,083	603
金銭の信託	54,682	55,966	1,283	1,884	601
公社債	55,981	56,177	196	199	2
株式	255	255	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—
合 計	252,968	254,448	1,479	2,083	603

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2019年度				
	簿価	貸借対照表 計上額		差額	
				うち差益	うち差損
満期保有目的の債券	107,471	107,471	—	—	—
満期保有目的の譲渡性預金	38,000	38,000	—	—	—
その他有価証券	144,415	143,405	△ 1,010	1,910	2,920
金銭の信託	100,942	99,876	△ 1,066	1,814	2,880
公社債	43,217	43,273	55	96	40
株式	255	255	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—
合 計	289,886	288,876	△ 1,010	1,910	2,920

注1. 区分は保有目的別の有価証券および金銭の信託残高の内訳です。

2. 売買目的有価証券に区分されるものではありません。

11 デリバティブ取引の時価情報

該当する金額はありません。

4

主要な経営指標

1 支払余力比率

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

項 目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	前年差
支払余力総額 (A)	155,623	169,092	183,039	196,744	208,816	12,072
純資産の部の合計 *	102,970	111,556	120,002	127,816	136,648	8,832
価格変動準備金の額	2,510	2,974	3,660	4,176	4,811	635
異常危険準備金の額	37,559	39,339	41,657	44,913	47,121	2,208
一般貸倒引当金の額	—	—	—	—	—	—
その他有価証券の評価差額の90% (負の場合100%)	1,531	1,651	1,649	1,331	△1,010	△2,341
土地の含み損益の85% (負の場合100%)	—	—	—	—	—	—
その他前各号に準ずるもの	11,051	13,570	16,068	18,505	21,245	2,740
契約者割戻準備金未割当部分	—	—	—	—	—	—
税効果相当額 (不算入額の控除後)	11,051	13,570	16,045	18,388	21,049	2,661
共済掛金積立金等余剰部分	—	—	23	116	196	80
負債性資本調達手段等	—	—	—	—	—	—
期限付劣後債務の不算入額 (—)	—	—	—	—	—	—
共済掛金積立金等余剰部分及び負債性資本調達手段等の不算入額 (—)	—	—	—	—	—	—
繰延税金資産の不算入額 (—)	—	—	—	—	—	—
リスクの合計額 (B) $(=\sqrt{(R_1+R_6)^2+(R_3+R_4)^2+R_2+R_5})$	26,724	27,370	28,165	28,779	29,474	695
一般共済リスク相当額 R_1	24,501	24,907	25,597	26,161	12,387	△13,774
巨大災害リスク相当額 R_2	1,239	1,267	1,169	1,171	1,180	9
予定利率リスク相当額 R_3	22	22	23	22	22	0
資産運用リスク相当額 R_4	4,320	5,312	6,173	6,377	7,078	701
経営管理リスク相当額 R_5	601	630	659	674	698	24
第三分野共済の共済契約に係るリスク相当額 R_6	—	—	—	—	14,277	14,277
支払余力比率 (C) $=(A)/\{(B) \times 1/2\} \times 100$	1164.6%	1235.6%	1299.7%	1367.3%	1417.0%	49.7%

* 純資産の部の合計から剰余金の処分支出額およびその他有価証券評価差額金等を控除した金額です。

注1. 上記比率は、通常の予測を超えたリスクに対応できる「支払余力」を有しているかどうかの指標です。消費生活協同組合法施行規則第166条の2、第166条の3および消費生活協同組合法施行規則第4条の2から第4条の5までの規定に定める方法にもとづいて算出しており、上記比率は200%以上必要とされています。

2. 生命保険会社、損害保険会社のソルベンシーマージン比率とは単純に比較はできません。

3. 「消費生活協同組合法施行規則ならびに施行規則」の改正により、2019年度より新たな基準による数値を記載しています(2018年度以前の支払余力比率は法令改正前の基準による数値です)。

2 利源別損益

(単位：千円/千円未満切り捨て)

区 分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	前年差
基礎利益	50,444,339	50,510,894	51,774,540	50,980,735	51,961,543	980,808
利差益	142,620	238,957	419,837	271,227	339,006	67,779
危険差益	49,738,166	47,368,950	44,028,605	44,723,967	45,062,118	338,151
費差益	563,552	2,902,986	7,326,098	5,985,540	6,560,418	574,878
キャピタル損益	234,393	9,958	127,862	39,537	116,724	77,187
臨時損益	△ 2,403,446	△ 2,133,421	△ 2,658,877	△ 3,276,596	△ 2,132,182	1,144,414
うち危険準備金繰入額	△ 2,403,446	△ 1,780,634	△ 2,317,950	△ 3,255,882	△ 2,207,419	1,048,463
経常剰余金	48,275,286	48,387,431	49,243,525	47,743,676	49,946,086	2,202,410
特別損益	△ 889,079	△ 733,572	△ 699,099	△ 575,175	△ 656,393	△ 81,218
法人税等その他	△ 3,143,903	△ 2,655,846	△ 2,502,068	△ 1,814,274	△ 3,098,207	△ 1,283,933
割戻準備金繰入額	△ 32,672,000	△ 33,295,000	△ 34,212,000	△ 34,856,000	△ 35,401,000	△ 545,000
当期末処分剰余金	11,570,303	11,703,012	11,830,358	10,498,226	10,790,485	292,259

注1. 利差益＝想定した運用収益(予定利率)と実際の運用収益との差額

2. 危険差益＝想定した共済金支払額(予定危険率)と実際に発生した共済金支払額との差額

3. 費差益＝想定した事業費(予定事業費率)と実際の事業費との差額

3 自己資本比率

(単位：千円/千円未満切り捨て、%)

区 分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	前年差
i) 自己資本	115,265,226	124,986,624	134,452,947	142,205,816	149,431,679	7,225,863
ii) 異常危険準備金・価格変動準備金	40,070,100	42,314,434	45,318,484	49,090,466	51,932,186	2,841,720
修正自己資本 i) + ii)	155,335,326	167,301,059	179,771,431	191,296,282	201,363,866	10,067,584
総資産	329,810,383	358,004,694	389,773,205	421,662,817	452,014,381	30,351,564
自己資本比率	34.9	34.9	34.5	33.7	33.1	△ 0.6
修正自己資本比率	47.1	46.7	46.1	45.4	44.5	△ 0.9

注1. 自己資本比率＝自己資本÷総資産

2. 修正自己資本比率＝修正自己資本÷総資産

5

その他の指標

◆業務用固定資産残高

(単位：千円/千円未満切り捨て)

年度	区分	種 類	当期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	当期末 帳簿価額	減価償却 累計額	期末 取得原価
2015 年度	有形 固定資産	建物付属設備	66,159	227,811	408	73,388	220,174	113,000	333,174
		器具備品	182,353	206,322	3,489	122,153	263,032	491,597	754,630
		リース資産	657,091	38,956	—	181,816	514,230	745,933	1,260,164
		計	905,604	473,090	3,898	377,359	997,437	1,350,532	2,347,969
	無形 固定資産	ソフトウェア	1,693,893	718,329	1,602	812,440	1,598,179		
		ソフトウェア仮勘定	312,783	1,321,889	551,330	—	1,083,342		
		のれん	8,957,925	—	—	2,351,390	6,606,535		
		電信電話専用施設利用権	13,656	2,167	—	811	15,012		
		商標権	3,432	—	—	467	2,964		
		著作権	2,545	—	—	—	2,545		
計	10,984,236	2,042,386	552,932	3,165,109	9,308,580				
合 計	11,889,840	2,515,476	556,830	3,542,468	10,306,018	1,350,532	2,347,969		
2016 年度	有形 固定資産	建物付属設備	220,174	65,171	629	43,812	240,904	141,882	382,786
		構築物	—	1,704	—	142	1,562	142	1,704
		器具備品	263,032	199,252	1,936	114,676	345,672	572,592	918,264
		リース資産	514,230	106,776	35,846	179,313	405,846	816,219	1,222,065
	計	997,437	372,905	38,412	337,944	993,985	1,530,835	2,524,821	
	無形 固定資産	ソフトウェア	1,598,179	1,612,085	—	763,111	2,447,153		
		ソフトウェア仮勘定	1,083,342	2,099,883	1,429,434	—	1,753,791		
		のれん	6,606,535	—	—	2,351,390	4,255,145		
		電信電話専用施設利用権	15,012	3,531	—	941	17,602		
		商標権	2,964	—	—	467	2,497		
著作権		2,545	—	—	—	2,545			
計	9,308,580	3,715,501	1,429,434	3,115,910	8,478,736				
合 計	10,306,018	4,088,406	1,467,847	3,453,855	9,472,722	1,530,835	2,524,821		
2017 年度	有形 固定資産	建物付属設備	240,904	9,819	0	36,326	214,397	176,745	391,143
		構築物	1,562	—	—	170	1,392	312	1,704
		器具備品	345,672	539,385	296	203,601	681,159	771,776	1,452,936
		リース資産	405,846	—	—	158,455	247,391	974,674	1,222,065
	計	993,985	549,205	296	398,553	1,144,340	1,923,508	3,067,849	
	無形 固定資産	ソフトウェア	2,447,153	2,978,416	—	1,084,108	4,341,462		
		ソフトウェア仮勘定	1,753,791	2,353,800	2,553,589	—	1,554,002		
		のれん	4,255,145	—	—	2,351,390	1,903,755		
		電信電話専用施設利用権	17,602	—	0	1,053	16,548		
		商標権	2,497	—	—	467	2,029		
著作権		2,545	—	—	—	2,545			
計	8,478,736	5,332,217	2,553,589	3,437,019	7,820,344				
合 計	9,472,722	5,881,422	2,553,886	3,835,572	8,964,685	1,923,508	3,067,849		
2018 年度	有形 固定資産	建物付属設備	214,397	2,004	—	26,998	189,403	203,744	393,148
		構築物	1,392	—	—	170	1,221	482	1,704
		器具備品	681,159	347,686	7,415	295,398	726,032	917,177	1,643,210
		リース資産	247,391	—	—	117,568	129,822	1,092,243	1,222,065
	計	1,144,340	349,691	7,415	440,136	1,046,480	2,213,647	3,260,128	
	無形 固定資産	ソフトウェア	4,341,462	4,535,818	414	1,743,878	7,132,987		
		ソフトウェア仮勘定	1,554,002	1,663,158	2,894,519	—	322,641		
		のれん	1,903,755	—	—	1,903,755	—		
		電信電話専用施設利用権	16,548	—	—	1,053	15,495		
		商標権	2,029	—	—	467	1,562		
著作権		2,545	—	—	—	2,545			
計	7,820,344	6,198,976	2,894,934	3,649,154	7,475,231				
合 計	8,964,685	6,548,668	2,902,349	4,089,290	8,521,712	2,213,647	3,260,128		
2019 年度	有形 固定資産	建物付属設備	189,403	77,778	1,276	29,725	236,180	233,080	469,261
		構築物	1,221	—	—	170	1,051	653	1,704
		器具備品	726,032	198,796	10,834	307,567	606,427	1,185,914	1,792,342
		リース資産	129,822	282,852	—	130,007	282,667	1,222,250	1,504,918
	計	1,046,480	559,427	12,111	467,470	1,126,326	2,641,899	3,768,226	
	無形 固定資産	ソフトウェア	7,132,987	1,617,189	2,041	2,192,357	6,555,778		
		ソフトウェア仮勘定	322,641	1,956,351	796,391	—	1,482,601		
		電信電話専用施設利用権	15,495	940	—	1,100	15,334		
		商標権	1,562	—	—	467	1,094		
		著作権	2,545	—	—	—	2,545		
計		7,475,231	3,574,481	798,432	2,193,925	8,057,355			
合 計	8,521,712	4,133,909	810,543	2,661,396	9,183,681	2,641,899	3,768,226		

II 財産の状況に関する事項

1 貸借対照表（2020年3月20日現在）

（単位：百万円/百万円未満切捨て、％）

科 目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	前年比
(資産の部)						
現金及び預金	58,583	101,406	121,761	132,718	125,979	94.9
現金	0	0	0	0	0	0.0
預貯金	58,582	101,406	121,760	132,717	125,979	94.9
金銭の信託	36,792	50,143	55,647	55,966	99,876	178.5
有価証券	201,775	173,974	179,958	198,482	189,000	95.2
譲渡性預金	81,000	36,000	29,000	41,000	38,000	92.7
国債	80,550	85,392	88,353	87,631	84,406	96.3
地方債	16,435	22,285	27,908	32,274	29,463	91.3
社債	23,534	30,041	34,440	37,320	36,874	98.8
株式	255	255	255	255	255	100.0
再共済勘定	56	66	118	199	265	133.2
業務委託勘定	6,268	6,233	6,333	7,255	7,423	102.3
業務受託勘定	310	311	308	308	314	101.9
その他共済資産	116	101	110	181	143	79.0
前払費用	19	45	43	73	84	115.1
未収収益	221	195	183	178	173	97.2
その他資産	1,135	1,381	882	1,155	1,412	122.3
未収金	581	809	213	288	558	193.8
差入保証金	291	176	178	181	178	98.3
仮払金	0	—	—	—	—	—
長期前払消費税等	208	280	435	638	597	93.6
その他の資産	52	115	54	46	78	169.6
業務用固定資産	10,306	9,472	8,964	8,521	9,183	107.8
減価償却資産	483	588	896	916	843	92.0
リース資産(有形)	514	405	247	129	282	218.6
無形固定資産	9,308	8,478	7,820	7,475	8,057	107.8
関係団体等出資金	270	270	270	270	331	122.6
関係団体出資金	260	260	260	260	260	100.0
子会社等株式	9	9	9	9	71	788.9
繰延税金資産	13,746	14,399	15,191	16,353	17,824	109.0
資産合計	329,601	358,004	389,773	421,662	452,014	107.2

(単位：百万円/百万円未満切捨て、%)

科 目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	前年比
(負債の部)						
共済契約準備金	197,594	215,745	236,969	259,856	282,233	108.6
支払備金	19,038	19,188	19,666	20,595	21,542	104.6
責任準備金	110,267	125,174	141,910	159,960	177,822	111.2
割戻準備金	68,288	71,382	75,391	79,300	82,868	104.5
再共済勘定	142	190	192	214	227	106.1
業務委託勘定	3,966	4,172	4,132	4,181	4,389	105.0
業務受託勘定	0	0	0	0	0	0.0
その他共済負債	137	51	39	30	48	160.0
未払費用	1,905	2,008	2,189	2,709	2,601	96.0
その他負債	7,083	6,729	6,827	6,800	6,597	97.0
未払金	692	689	801	1,057	560	53.0
未払法人税等	5,030	4,560	4,700	4,500	4,700	104.4
預り金	684	879	848	883	908	102.8
リース債務	571	453	278	146	255	174.7
資産除去債務	94	142	142	143	144	100.7
その他の負債	10	4	56	70	29	41.4
引当金	994	1,144	1,308	1,485	1,674	112.7
賞与引当金	184	179	198	200	213	106.5
退職給付引当金	809	965	1,110	1,285	1,460	113.6
価格変動準備金	2,510	2,974	3,660	4,176	4,811	115.2
負債合計	214,336	233,018	255,320	279,457	302,582	108.3
(純資産の部)						
会員資本	114,038	123,664	133,131	141,138	150,160	106.4
出資金	63,354	63,355	63,358	63,359	63,359	100.0
剰余金	50,684	60,308	69,772	77,779	86,800	111.6
法定準備金	8,990	11,070	13,150	15,200	16,960	111.6
任意積立金	30,123	37,535	44,792	52,081	59,050	113.4
当期末処分剰余金	11,570	11,703	11,830	10,498	10,790	102.8
(うち当期剰余金)	10,376	10,384	10,224	8,766	9,781	111.6
評価・換算差額等	1,226	1,322	1,321	1,066	△ 728	△ 68.3
その他有価証券評価差額金	1,226	1,322	1,321	1,066	△ 728	△ 68.3
純資産合計	115,265	124,986	134,452	142,205	149,431	105.1
負債・純資産合計	329,601	358,004	389,773	421,662	452,014	107.2

2 損益計算書 (自2019年3月21日～至2020年3月20日)

(単位：百万円/百万円未満切捨て、%)

科 目		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	前年比
経常損益	経常収益	206,560	213,137	219,660	225,541	230,788	102.3
	共済掛金等収入	176,296	181,249	186,924	192,327	196,343	102.1
	受入共済掛金	175,502	180,528	186,090	191,032	194,888	102.0
	受入共済金	323	272	378	828	986	119.1
	受入受託手数料	470	449	454	466	468	100.4
	共済契約準備金戻入額	28,566	30,241	30,243	30,974	31,850	102.8
	割戻準備金戻入額	28,566	30,241	30,243	30,974	31,850	102.8
	資産運用収益	1,401	1,392	1,849	1,752	2,073	118.3
	利息及び配当金等収益	998	1,027	1,070	1,116	1,124	100.7
	金銭の信託運用益	403	360	778	635	949	149.4
	有価証券売却益	—	5	1	—	0	—
	その他経常収益	296	253	642	487	520	106.8
	受取出資配当金	145	109	273	73	72	98.6
	その他の経常収益	150	143	369	414	447	108.0
	経常費用	158,285	164,750	170,417	177,797	180,842	101.7
	共済金等支払額	93,817	97,091	98,587	101,448	104,069	102.6
	支払共済金	62,951	64,403	65,567	67,352	68,934	102.3
	支払共済掛金	477	625	719	849	911	107.3
	支払返戻金	1,924	1,935	2,212	2,354	2,451	104.1
	支払割戻金	28,463	30,127	30,088	30,892	31,771	102.8
	共済契約準備金繰入額	14,352	15,097	17,255	19,006	18,826	99.1
	支払備金繰入額	524	150	477	929	947	101.9
	責任準備金繰入額	13,772	14,907	16,736	18,049	17,861	99.0
	割戻金据置利息繰入額	55	40	41	26	18	69.2
	資産運用費用	64	106	120	128	155	121.1
	その他の運用費用	64	106	120	128	155	121.1
	事業経費	49,989	52,268	54,133	56,783	57,462	101.2
	人件費	6,016	6,306	6,234	6,707	7,101	105.9
	物件費	19,805	19,797	21,592	23,494	23,510	100.1
	共済委託手数料	24,168	26,164	26,306	26,580	26,850	101.0
	その他経常費用	61	185	320	430	327	76.0
	寄付金	17	21	22	19	23	121.1
	その他の経常費用	44	164	297	411	304	74.0
	経常剰余金	48,275	48,387	49,243	47,743	49,946	104.6
特別損益	特別利益	0	—	0	—	—	—
	固定資産売却益	0	—	0	—	—	—
	特別損失	889	733	699	575	656	114.1
	リース解約損	0	35	—	—	—	—
	固定資産除却損	5	2	0	7	14	—
	固定資産売却損	0	—	0	—	—	—
	異常災害見舞金	4	231	12	51	7	13.7
	価格変動準備金繰入額	878	463	686	516	634	122.9
税引前当期剰余金		47,386	47,653	48,544	47,168	49,289	104.5
法人税等		5,073	4,664	4,898	4,609	4,883	105.9
法人税等調整額		△ 735	△ 690	△ 791	△ 1,063	△ 776	73.0
割戻準備金繰入額		32,672	33,295	34,212	34,856	35,401	101.6
当期剰余金		10,376	10,384	10,224	8,766	9,781	111.6
当期首繰越剰余金		467	525	526	517	441	85.3
事業継続計画対応積立金取崩額		396	—	—	—	—	—
異常災害見舞金積立金取崩額		4	231	12	51	7	13.7
事務システム整備対応積立金取崩額		326	521	813	876	356	40.6
加入者貢献積立金取崩額		—	39	253	286	203	71.0
当期末処分剰余金		11,570	11,703	11,830	10,498	10,790	102.8

3 部門別損益計算書 (自2019年3月21日～至2020年3月20日)

(単位: 百万円/百万円未満切り捨て)

科 目 / 部 門	共済事業							合 計	その他 事業 (受託共済)	総合計
	生命共済	住宅災害 共済	こども 共済	定期生命 共済	終身共済	計	部門外 勘定			
経常収益	88,177	1,864	39,208	75,236	25,119	229,605	1,045	230,651	137	230,788
共済掛金等収入	72,466	1,635	33,737	63,937	24,430	196,206	—	196,206	136	196,343
受入共済掛金	72,164	1,058	33,576	63,697	24,391	194,888	—	194,888	—	194,888
受入共済金	131	574	2	239	39	986	—	986	—	986
受入受託手数料	170	2	158	—	—	331	—	331	136	468
共済契約準備金戻入額	15,337	224	5,326	10,921	42	31,850	—	31,850	—	31,850
割戻準備金戻入額	15,337	224	5,326	10,921	42	31,850	—	31,850	—	31,850
資産運用収益	15	0	7	362	642	1,028	1,045	2,073	—	2,073
利息及び配当金等収益	15	0	7	362	642	1,028	96	1,124	—	1,124
金銭の信託運用益	—	—	—	—	—	—	949	949	—	949
有価証券売却益	—	—	—	—	—	—	0	0	—	0
その他経常収益	357	4	137	15	4	519	0	519	0	520
受取出資配当金	49	0	22	0	0	72	0	72	0	72
その他の経常収益	308	4	114	15	4	446	—	446	0	447
経常費用	65,082	1,640	31,858	57,408	24,511	180,500	172	180,673	169	180,842
共済金等支払額	42,132	1,261	20,626	35,097	4,951	104,069	—	104,069	—	104,069
支払共済金	26,642	820	15,319	22,189	3,963	68,934	—	68,934	—	68,934
支払共済掛金	190	217	—	436	67	911	—	911	—	911
支払返戻金	—	—	—	1,568	883	2,451	—	2,451	—	2,451
支払割戻金	15,300	223	5,306	10,903	38	31,771	—	31,771	—	31,771
共済契約準備金繰入額	304	65	1,439	3,644	13,372	18,826	—	18,826	—	18,826
支払備金繰入額	172	10	43	568	151	947	—	947	—	947
責任準備金繰入額	131	55	1,396	3,057	13,220	17,861	—	17,861	—	17,861
割戻金据置利息繰入額	—	—	—	17	0	18	—	18	—	18
資産運用費用	—	—	—	—	—	—	155	155	—	155
その他の運用費用	—	—	—	—	—	—	155	155	—	155
事業経費	22,513	311	9,729	18,569	6,153	57,277	16	57,294	168	57,462
人件費	2,773	36	1,575	2,135	543	7,063	—	7,063	37	7,101
物件費	9,052	118	4,295	6,786	3,109	23,362	16	23,379	130	23,510
共済委託手数料	10,687	156	3,858	9,647	2,501	26,850	—	26,850	—	26,850
その他経常費用	132	1	63	96	33	327	—	327	0	327
寄付金	9	0	4	7	2	23	—	23	0	23
その他の経常費用	122	1	58	89	31	303	—	303	0	304
経常剰余金	23,094	223	7,350	17,827	608	49,105	873	49,978	△32	49,946
特別損失	5	0	2	13	25	47	600	648	8	656
固定資産除却損	5	0	2	4	1	14	—	14	0	14
異常災害見舞金	—	—	—	—	—	—	—	—	7	7
価格変動準備金繰入額	—	—	—	9	24	33	600	634	—	634
税引前当期剰余金	23,088	223	7,347	17,813	583	49,057	272	49,329	△40	49,289
法人税等	2,255	29	990	1,244	115	4,634	260	4,895	△12	4,883
法人税等調整額	△80	△1	△408	△186	△109	△786	11	△774	△1	△776
割戻準備金繰入額	15,468	179	5,316	13,950	488	35,401	—	35,401	—	35,401
当期剰余金	5,446	16	1,449	2,805	89	9,807	0	9,808	△26	9,781
当期首繰越剰余金	237	2	63	127	10	440	0	441	0	441
異常災害見舞金積立金取崩額	—	—	—	—	—	—	—	—	7	7
事務システム整備対応積立金取崩額	126	1	60	106	55	350	—	350	5	356
加入者貢献積立金取崩額	82	1	38	63	18	203	—	203	—	203
当期末処分剰余金	5,891	21	1,612	3,103	174	10,802	0	10,803	△12	10,790

4 注記事項

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

① 売買目的有価証券

事業年度末日の市場価格等にもとづく時価法（売却原価の算定は移動平均法）

② 満期保有目的の債券

償却原価法（定額法）

③ 子会社・関連会社株式（消費生活協同組合法施行規則第210条第2項に規定する子法人等および同規則第210条第3項に規定する関連法人等が発行する株式をいう）

移動平均法による原価法

④ その他有価証券

時価のあるもの

事業年度末日の市場価格等にもとづく時価法（売却原価の算定は移動平均法）

時価を把握することが極めて困難と認められるもの

移動平均法による原価法

なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。

(2) 金銭の信託の評価基準および評価方法

金銭の信託において信託財産として運用している有価証券は事業年度末日の市場価格等にもとづく時価法で評価しております。

(3) 業務用固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（所有権移転外ファイナンス・リース取引を除く）

定率法によっております。

ただし、2016年4月1日以降取得した建物附属設備ならびに構築物については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物附属設備、器具備品……2年～20年

② 無形固定資産（所有権移転外ファイナンス・リース取引を除く）

ソフトウェア…利用可能期間にもとづく定額法（2年～5年）

③ 所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

(4) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、それぞれ以下の基準により計上することとしております。

ア) 一般債権

過去の貸倒実績率

イ) 貸倒懸念債権および破産更生債権等

個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込み額を計上しております。

なお、当事業年度末において貸倒引当金の計上はありま

せん。

② 賞与引当金

職員に対して支給する賞与の支出にあてるため、翌事業年度の夏季賞与支給見込額のうち、当事業年度に負担すべき額を計上しております。

③ 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込み額にもとづき計上しております。

ア) 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。

イ) 数理計算上の差異および過去勤務費用の費用処理方法

数理計算上の差異については、その発生時における職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。また、過去勤務費用は、発生時の事業年度で費用処理することとしております。

(5) 責任準備金の積立方法

責任準備金（異常危険準備金、共済掛金積立金、未経過共済掛金）は、共済契約にもとづく将来における債務の履行に備えるため、消費生活協同組合法第50条の7の規定にもとづき計上する準備金であり、共済掛金積立金については、平準純共済掛金式により計算しております。

(6) 価格変動準備金の計上方法

価格変動準備金は、債券等の価格変動による損失に備えるため、消費生活協同組合法第50条の9の規定にもとづき計上しております。

(7) 決算関係書類の作成基準

消費生活協同組合法および同施行規則にもとづいて作成しております。

(8) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

ただし、資産に係る控除対象外消費税等は、長期前払消費税等に計上し5年間で均等償却しております。

(9) 退職給付に係る会計処理

退職給付に係る未認識数理計算上の差異の未処理額の会計処理の方法は、連結決算関係書類における会計処理の方法と異なっております。

(10) 端数処理

決算関係書類の金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 貸借対照表等に関する注記

(1) 資産に係る減価償却累計額

資産に係る減価償却累計額は次のとおりです。

減価償却資産 …………… 1,419,648千円

リース資産 (有形) …… 1,222,250千円

(2) 子法人等に対する金銭債権・金銭債務

子法人等に対する金銭債権は68,766千円です。

(3) 再共済に付した部分に相当する責任準備金および支払備金の額

消費生活協同組合法施行規則第180条にもとづく再共済に付した部分に相当する責任準備金は1,409,742千円です。また、同規則第184条第3項にもとづく再共済に付した部分に相当する支払備金は351,271千円です。

3. 損益計算書に関する注記

(1) 子法人等との取引高

子法人等との取引による収益の総額は425,301千円になります。

(2) 教育事業等繰越金

当期首繰越剰余金には、剰余金処分により繰越した教育事業等繰越金438,335千円が含まれております。

4. 税効果会計に関する注記

(1) 繰延税金資産および繰延税金負債の発生 主な原因別内訳

繰延税金資産

異常危険準備金 …………… 13,088,160千円

IBNR備金 …………… 3,553,110千円

価格変動準備金 …………… 1,342,800千円

退職給付引当金 …………… 407,676千円

未払事業税 …………… 306,503千円

金銭の信託等評価損 …………… 299,267千円

その他 …………… 341,778千円

繰延税金資産小計 …………… 19,339,296千円

評価性引当額 …………… △1,490,459千円

繰延税金資産合計 …………… 17,848,837千円

繰延税金負債

その他 …………… 24,082千円

繰延税金負債合計 …………… 24,082千円

繰延税金資産の純額 …………… 17,824,754千円

(2) 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主要な項目別の内訳

法定実効税率 …………… 27.91%
(調整)

割戻準備金繰入額 …………… △20.05 %

その他 …………… 0.47%

税効果会計適用後の法人税等の負担率 …… 8.33%

5. リースにより使用する固定資産に関する注記

貸借対照表に計上した固定資産のほか、電子計算機、事務機器の一部については、所有権移転外ファイナンス・リース契約により使用しております。

6. 関連当事者との取引に関する注記

記載すべき重要なものではありません。

7. 重要な後発事象に関する注記

特記すべき事象はありません。

5 剰余金処分計算書

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

科 目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
I 当期末処分剰余金	11,570	11,703	11,830	10,498	10,790
II 任意積立金取崩額	418	1,313	2,335	1,233	1,385
事業継続計画対応積立金取崩額	104	—	—	—	—
事務システム整備対応積立金取崩額	313	1,313	2,335	1,233	1,385
III 剰余金処分額	11,462	12,490	13,648	11,290	11,686
法定準備金	2,080	2,080	2,050	1,760	1,960
出資配当金	760	760	760	760	760
任意積立金	8,622	9,650	10,838	8,770	8,966
異常災害見舞金積立金	1,042	1,270	1,034	244	196
事務システム整備対応積立金	3,300	1,700	1,750	2,390	3,466
加入者貢献積立金	200	459	253	286	203
財務基盤強化積立金	4,080	6,220	7,800	5,850	5,100
IV 次期繰越剰余金	525	526	517	441	489

[2019年度に関する注記]

- 注1. 法定準備金は、消費生活協同組合法の定めにもとづき、当期剰余金の20%となる1,960,000,000円を積み立てます。
- 注2. 出資配当金は、配当率1.2%（前年と同率）とし、760,315,200円を計上します。
- 注3. 異常災害見舞金積立金については、2019年度で取り崩した7,941,334円を補充し、異常災害見舞金規則にもとづき、196,941,334円を積み立てます。積立後の残高は12,751,000,000円となります。「異常災害見舞金規則」では、共済契約数10万につき1億5千万円の積立金残高となるまで積み立てます。
- 注4. 事務システム整備対応積立金については、10億円以上のシステム開発案件と3億円以上の今後2年間で投資する蓋然性が高い商品改定、継続投資が必要なシステム基盤、システムBCP対応への投資に伴うシステム開発案件の投資に備えて、開発総額の7割に相当する金額を積み立てます。
- 注5. 加入者貢献積立金については、会員生協で取り組まれる「CO・OP共済の長期加入者への感謝の取り組み」と「健康づくり」への支援に備えて合計6億2千万円の積立残高を維持するように積み立てます。2019年度で取り崩した203,638,689円を補充して積み立てます。
- 注6. 財務基盤強化積立金については、今回の剰余金処分で5,100,000,000円を積み立て、財務基盤の安定、将来的な経営リスクに備え、長期的にもESR目標を維持できるようにします。積立後の残高は47,430,000,000円となります。
- 注7. 次期繰越剰余金は、教育事業繰越金（当期剰余金の5%、489,075,904円）を含め、次期繰越剰余金として489,250,489円を繰り越します。

CO・OP共済事業の経過と実績 (CO・OP共済グループ全体)

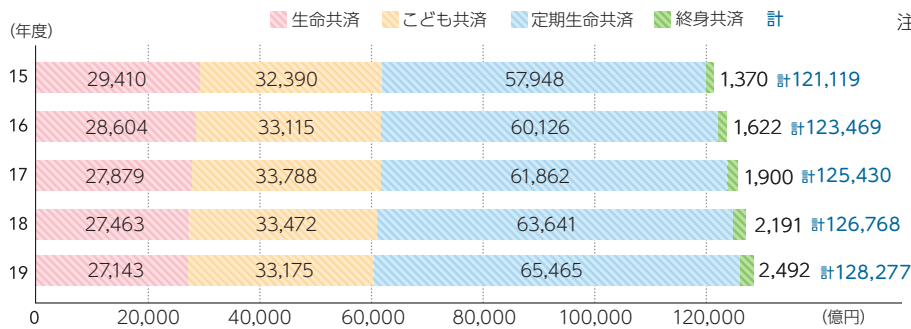
CO・OP共済引受団体(コープ共済連、共同引受会員)の総体におけるCO・OP共済事業の経過と実績についてお知らせします。

契約高

保有契約高 ⇨ **12兆8,277億円**

CO・OP共済グループ全体の保有契約高(元受共済)は、12兆8,277億円(前年比101.2% 1,509億円増)となりました。

元受共済契約高の推移



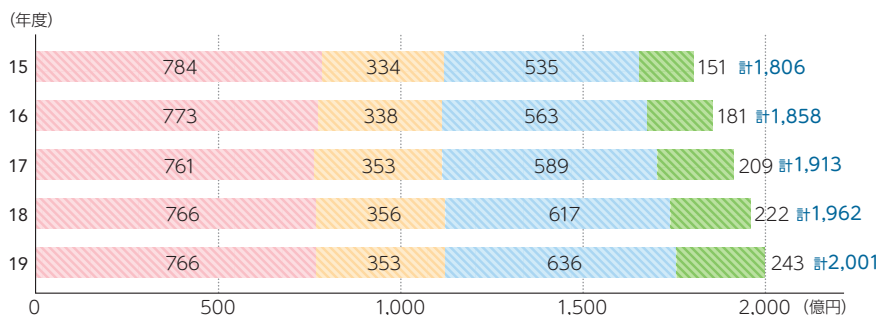
- 注1. 契約高は、生命共済、こども共済および定期生命共済、終身共済の各共済事業における死亡・重度障害共済金額の引受額の合計です。
2. 「生命共済」とは、《たすけあい》のジュニア20コース以外のコースおよび《あいあい》の一部をさします。「こども共済」とは、《たすけあい》のジュニア20コースをさします。「定期生命共済」とは、《あいがらす》をさします。「終身共済」とは、《ずっとあい》をさします。

共済掛金

受入共済掛金 ⇨ **2,001億円**

CO・OP共済グループ全体の受入共済掛金(元受共済)は、2,001億円(前年比102.0% 38億円増)となりました。

元受共済受入共済掛金の推移



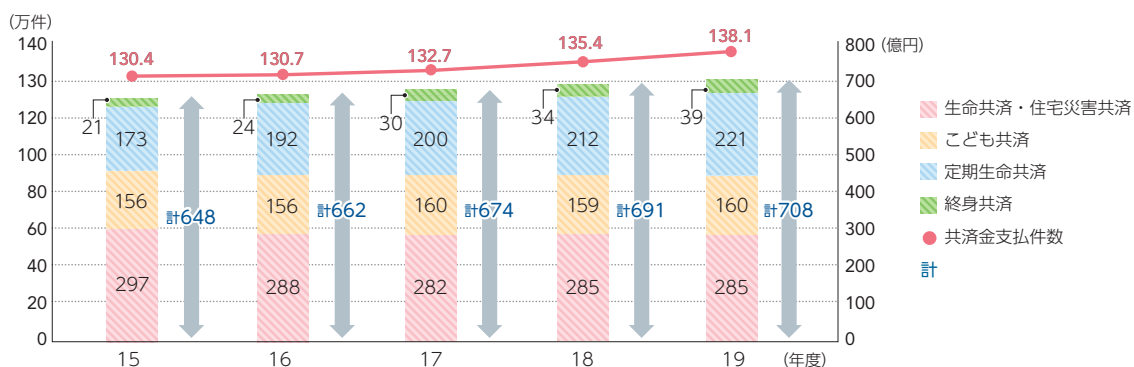
共済金

支払共済金 ⇨ **138万1,932件 708億円**

CO・OP共済グループ全体の共済金支払件数(元受共済)は、138万1,932件(前年比102.1% 27,837件増)となりました。

CO・OP共済グループ全体の支払共済金(元受共済)は、708億円(前年比102.4% 16億円増)となりました。

共済金支払件数と支払共済金額の推移



CO・OP共済のあゆみ

西暦	CO・OP共済のあゆみ	社会・経済の状況
1979	●全国労働者共済生活協同組合連合会との「CO・OP共済に関する基本協定」にもとづきCO・OP共済(A型—セツ共済、B型—生命共済、C型—火災共済)を開始。	●スリーマイル島原発放射能漏洩事故 ●原油値上げ、供給削減(第2次石油危機)
1983	●日本生協連元受共済の準備を開始。 (日本生協連定款第3条に「組合員の生活の共済をはかる事業」を明記)	●イラン・イラク戦争 ●全国労働者共済生活協同組合連合会、こくみん共済を実施
1984	●《たすけあい》が厚生大臣の認可を受ける。 ●《たすけあい》(生命限度額100万円、入院見舞金2万円)を募集開始。 ●A型—セツ共済の募集停止。	●85年、G5によるプラザ合意 ●85年、日航ジャンボ機、御巣鷹山に墜落 ●85年、金融自由化本格始動
1986	●CO・OP共済運営委員会にて「地域生協における組合員共済事業のあり方」についての答申が出る。	●男女雇用機会均等法施行 ●チェルノブイリ原発事故
1987	●《たすけあい》の一部改定が認可され、入院見舞金を日額制に改定。 ●全国労働者共済生活協同組合連合会との基本協定を改定し、業務の受託を開始。 ●1986年答申により、《あいあい》を開発、募集開始。 ●B型—生命共済を募集停止、C型をCO・OP火災共済と名称変更。	●ニューヨーク株式市場22.6%下落(ブラックマンデー) ●国鉄分割・民営化決定 ●ソ連、ペレストロイカ導入
1989	●「CO・OP共済のめざすもの」として地域生協における共済事業の位置づけと中期ビジョンを日本生協連理事会で承認。 ●《あいあい》の限度額の引上げと満期金特約の付帯を実施。	●昭和天皇逝去、平成に改元 ●消費税3%実施 ●日経平均株価最高記録38,915円
1990	●加入者10万人到達によって、総合共済限度額引上げの厚生大臣許可を得て、《たすけあい》を制度改定。 ●《たすけあい》に月掛金700円・1,700円・2,700円の3コースを新設。	●東西ドイツ統一 ●イラク軍クウェート侵攻、91年湾岸戦争 ●ソ連11共和国、独立国家共同体を構成
1991	●島原雲仙普賢岳の大火砕流で見舞金を5人にお支払い。	●湾岸戦争勃発 ●雲仙普賢岳で火砕流発生
1993	●《たすけあい》と《あいあい》に異常災害見舞金制度ができる。	●冷害による米凶作、外国産米輸入へ ●定期預金金利完全自由化
1994	●《たすけあい》に高齢者向けのコースと3900円コースを新設。 ●全国12か所で「保障の見直し講座」開催。第1回ライフプラン・アドバイザー(LPA)養成セミナー開催。ライフプランニング活動を開始。	●松本サリン事件 ●為替レート、戦後初100円突破 ●外資系生保が国内営業開始
1995	●《たすけあい》にこども向け1600円コースを新設。 ●阪神・淡路大震災発生。積立金が不足するため、規程の金額を減額して18,373世帯に2億3,285万円の異常災害見舞金をお支払い。	●阪神・淡路大震災 ●地下鉄サリン事件
1996	●1989年に策定された「CO・OP共済のめざすもの」を補強修正し、「共済事業のめざすもの」を決定。 ●第1回ライフプラン講座開講。	●O157被害、全国に拡大 ●保険業法改正
1997	●《たすけあい》にこども向け1000円コースを新設。	●消費税率5%に引き上げ ●山一證券ほか金融機関の破綻相次ぐ
1998	●《たすけあい》に女性コースを新設。	●日本版金融ビッグバンスタート
1999	●こども共済事業規約の認可を受け、《たすけあい》ジュニア18コースを新設。こども向けコースをケガ通院コースに名称変更。	●情報公開法成立 ●JCO東海事業所で放射線臨界事故
2000	●《あいびらす》を開発、一部生協で募集開始。 ●鳥取県西部地震で864世帯に1,448万円の異常災害見舞金をお支払い。	●消費者契約法成立 ●雪印乳業製品食中毒事故 ●介護保険制度スタート
2001	●《あいびらす》の全国募集開始。 ●芸予地震で1,820世帯に1,975万円の異常災害見舞金をお支払い。	●米国同時多発テロ ●国内初のBSEを確認
2002	●《たすけあい》に医療コースを新設。	●公立学校完全週休2日制実施
2003	●《あいびらす》に生命2,000万円コース、入院(日額5,000円)付生命2,000万円コースを新設。	●イラク戦争 ●アジア各地で新型肺炎SARS流行
2004	●CO・OP共済コールセンターとして「コープ共済センター」を開所。 ●《たすけあい》ジュニア18コースにJ2000円コースを新設。 ●《たすけあい》ジュニア18コースの病気の入院保障を1泊2日からに改善。 ●《あいびらす》に入院(日額10,000円)付生命コースを新設。 ●《たすけあい》20周年記念企画を実施。 ●新潟県中越地震で2,419世帯に5,685万円の異常災害見舞金をお支払い。	●新潟県中越地震 ●スマトラ沖地震 ●鳥インフルエンザ、アジア各地で広がる

西暦	CO・OP共済のあゆみ	社会・経済の状況
2005	《たすけあい》女性コースにL4000円コース、医療コースにV4000円コースを新設。 2700円コースと3900円コースをベーシックコースにリニューアル。 《たすけあい》女性コース、医療コースの病気の入院保障を1泊2日からに改善。 《あいづらす》にがん特約を新設。	- 個人情報保護法の全面施行 - JR 福知山線脱線事故 - ペイオフ全面解禁 - 耐震偽装問題
2006	《たすけあい》ジュニア18コースの病気の入院保障を入院1日目からに改善。 《たすけあい》ジュニア18コース（J1000円コース）の加入引受基準を条件付加入により緩和。 《あいづらす》の掛金を改定（引き下げ）。	相次ぐ保険金不払い問題
2007	《たすけあい》女性コース、ベーシックコース、シルバー70コース等の病気入院保障が1日目からに改善。 《新あいあい》を募集開始。 - 新潟県中越沖地震で996世帯に2,369万円の異常災害見舞金をお支払い。	- 改正生協法の成立 - 牛肉コロッケなど食品偽装問題 - 郵政民営化による最大の保険会社の誕生
2008	- ライフプランアドバイザーが全国で2,000人を突破。 《たすけあい》大人向けコースで加入年齢および満期年齢の引き上げを実施。 - コープ共済連を設立。	- 保険商品の銀行窓販の全面解禁 「CO・OP手作り餃子」中毒事件など食の安全への不安 - サブプライムローン問題に端を発する世界同時不況
2009	- 元受実施会員生協および日本生協連から共済事業の譲受と共済契約の包括移転を実施。 《あいづらす》ゴールド80に医療型を新設。 - CO・OP共済5商品の加入者数が700万人となる。	- 新型インフルエンザの世界的流行 - 裁判員裁判スタート - 完全失業率の悪化と雇用不安
2010	《たすけあい》ジュニア18コースに加入告知緩和型のJ1900円コースを新設。 《あいづらす》の加入者数が100万人となる。	- 保険法施行 - 奄美地方で集中豪雨
2011	《ずっとあい》終身生命、《ずっとあい》終身医療を開発、募集開始。 - インターネット手続きサービスを開始。 《たすけあい》《あいづらす》2商品の加入者数が700万人となる。 - CO・OP共済のブランドコンセプトを決定。	- 東日本大震災 - 欧州において財政悪化
2012	- CO・OP共済のキャラクター「コーすけ」が誕生。 - インターネットでの組合員の声受付システムを開始。 - 助成金制度（地域ささえあい助成）を開始。 《たすけあい》女性コースを改定。 「2020年をめざすCO・OP共済のありたい姿」を総会で承認。	2012国際協同組合年 - 対ドル、対円でユーロ安が進行
2013	《あいづらす》の生命保障加入限度額が2,000万円から3,000万円にアップ。 《あいづらす》に新がん特約を新設。 - CO・OP共済7商品の加入者数が800万人となる。 - CO・OP共済が顧客満足度第1位獲得（JCSI調査結果生命保険部門）。 - コーすけがゆるキャラ®グランプリ2013で企業キャラ部門第1位獲得。	- 自動車損害賠償責任保険（自賠責保険）の保険料値上げ - インターネット選挙運動が解禁
2014	《たすけあい》30周年。 - CO・OP共済が顧客満足度2年連続第1位獲得（JCSI調査結果生命保険部門）。	- 消費税率8%に引き上げ - デング熱の国内感染を約70年ぶりに確認
2015	- CO・OP共済が顧客満足度3年連続第1位獲得（JCSI調査結果生命保険部門）。 《たすけあい》《あいづらす》《ずっとあい》で特定病気による加入告知基準を緩和。	- 関東・東北豪雨 - マイナンバーの通知開始
2016	- CO・OP共済が顧客満足度4年連続第1位獲得（JCSI調査結果生命保険部門）。 《たすけあい》に先進医療特約を新設。 《たすけあい》ジュニアコースの保障期間を満20歳までに延長。 - 厚生労働大臣から「えるばし」最高位の認定を取得。	- 熊本・大分地震 - 鳥取県中部地震 - 協同組合の思想と実践がユネスコの「無形文化遺産」に登録
2017	《あいづらす》プラチナ85を新設。 - 健康づくり支援企画を開始。	九州北部豪雨
2018	《あいづらす》プラチナ85に先進医療特約の付帯が可能となる。	- JCA発足 - 大阪北部地震 - 西日本豪雨 - 北海道胆振東部地震
2019	CO・OP共済が3年ぶりに顧客満足度第1位獲得（JCSI調査結果生命保険部門）。	- 平成の天皇陛下退位、令和に改元 - 東日本で台風・大雨被害が多発 - 消費税率10%に引き上げ

	《たすけあい》	《あいぶらす》	《ずっとあい》	《あいあい》 《新あいあい》	火災共済
■北海道					
生活協同組合コープさっぽろ	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(北海道)	○	○	○	○	○
室蘭工業大学生協同組合	○	○	○		○
■青森県					
青森県庁消費生活協同組合	○	○	○		○
青森県民生活協同組合	○	○	○		○
生活協同組合コープあおもり	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(青森)	○	○	○		○
八戸市職員生活協同組合				○	○
■秋田県					
生活協同組合コープあきた	○	○	○		○
■岩手県					
岩手県学校生活協同組合	○	○	○		○
いわて生活協同組合	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(岩手)	○	○	○		○
■宮城県					
生活協同組合あいコープみやぎ	○	○	○		○
みやぎ生活協同組合	○	○	○	○	○
■山形県					
生活協同組合共立社	○	○	○	○	○
生活クラブやまがた生活協同組合	○	○	○	○	○
■福島県					
生活協同組合あいコープふくしま	○	○	○		○
生活協同組合コープあいづ	○	○	○		○
生活協同組合パルシステム福島	○	○	○	○	○
生活クラブふくしま生活協同組合	○	○	○		○
■茨城県					
いばらきコープ生活協同組合	○	○	○	○	○
常総生活協同組合	○	○	○		○
生活協同組合パルシステム茨城栃木	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(茨城)	○	○	○		○
■栃木県					
生活クラブ生活協同組合(栃木)	○	○	○		○
とちぎコープ生活協同組合	○	○	○		○
よつ葉生活協同組合	○	○	○		○
■群馬県					
生活協同組合コープぐんま	○	○	○	○	○
生活協同組合パルシステム群馬	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(群馬)	○	○	○		○
■埼玉県					
埼玉県勤労者生活協同組合	○	○	○	○	○
生活協同組合コープみらい	○	○	○	○	○
生活協同組合パルシステム埼玉	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(埼玉)	○	○	○		○

- 注1 2020年8月現在でそれぞれの共済商品の加入者がいる会員生協に○を付けています。
 2 会員生協は各都道府県内で五十音順に掲載しています。
 3 *はCO・OP共済《たすけあい》の共同引受会員生協です。
 4 会員生協の本部所在地を都道府県で分けています。
 5 東京西部保健生活協同組合と東京南部生活協同組合は新規取り扱いを中止しています。

	《たすけあい》	《あいがらす》	《ずっとあい》	《あいあい》 《新あいあい》	火災共済
■ 千葉県					
生活協同組合パルシステム千葉	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(千葉)	○	○	○	○	○
なのはな生活協同組合	○	○	○		○
■ 東京都					
北多摩中央医療生活協同組合					○
自然派くらぶ生活協同組合	○	○	○		○
生活協同組合パルシステム東京	○	○	○	○	○
生活クラブ共済事業連合生活協同組合連合会*					
生活クラブ生活協同組合(東京)	○	○	○		○
東京西部保健生活協同組合 注5					○
東京都学校生活協同組合					○
東京南部生活協同組合 注5	○	○	○	○	○
東京保健生活協同組合					○
東都生活協同組合	○	○	○	○	○
パルシステム共済生活協同組合連合会*					
■ 神奈川県					
生活協同組合うらが CO-OP	○	○	○		○
生活協同組合ナチュラルコップヨコハマ	○	○	○		○
生活協同組合パルシステム神奈川	○	○	○	○	○
生活協同組合ユーコップ	○	○	○		○
生活クラブ生活協同組合(神奈川)	○	○	○		○
全日本海員生活協同組合	○	○	○		
福祉クラブ生活協同組合	○	○	○		○
富士フィルム生活協同組合	○	○	○		○
■ 新潟県					
生活協同組合コープクルコ	○	○	○	○	○
生活協同組合コープにいがた	○	○	○		○
生活協同組合パルシステム新潟ときめき	○	○	○	○	○
■ 山梨県					
生活協同組合パルシステム山梨	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(山梨)	○	○	○		○
■ 長野県					
生活協同組合コープながの	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(長野)	○	○	○		○
長野県庁生活協同組合	○	○	○		
■ 富山県					
生活協同組合CO・OPとやま	○	○	○	○	○
富山県生活協同組合	○	○	○		○
■ 石川県					
生活協同組合コープいしかわ	○	○	○	○	○
■ 福井県					
福井県民生活協同組合	○	○	○		○
■ 岐阜県					
岐阜県学校生活協同組合	○	○	○		○
生活協同組合コープぎふ	○	○	○	○	○
生活協同組合がちとまと	○	○	○		○
■ 静岡県					
生活協同組合パルシステム静岡	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(静岡)	○	○	○		○

	《たすけあい》	《あいぶらす》	《ずっとあい》	《あいあい》 《新あいあい》	火災共済
■ 愛知県					
あいち生活協同組合	○	○	○		○
一宮生活協同組合	○	○	○		
かりや愛知中央生活協同組合	○	○	○		○
生活協同組合コープあいち	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(愛知)	○	○	○		○
トヨタ生活協同組合	○	○	○		
■ 三重県					
生活協同組合コープみえ	○	○	○	○	○
■ 滋賀県					
生活協同組合コープしが	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(滋賀)	○	○	○		○
■ 京都府					
京都市民共済生活協同組合	○	○	○		
京都生活協同組合	○	○	○	○	○
生活協同組合コープ自然派京都	○	○	○		○
生活協同組合生活クラブ京都エル・コープ	○	○	○		○
■ 大阪府					
大阪いずみ市民生活協同組合	○	○	○		○
大阪学校生活協同組合	○	○	○		
大阪市民共済生活協同組合	○	○	○		
大阪よどがわ市民生活協同組合	○	○	○	○	○
グリーンコープ生活協同組合おおさか	○	○	○		○
生活協同組合エスコープ大阪	○	○	○		○
生活協同組合おおさかパルコープ	○	○	○	○	○
生活協同組合コープ自然派おおさか	○	○	○		○
生活クラブ生活協同組合大阪	○	○	○		○
泉南生活協同組合	○	○	○		○
■ 兵庫県					
尼崎市民共済生活協同組合	○	○	○		
神戸市民生活協同組合	○	○	○		
生活協同組合コープこうべ	○	○	○	○	○
生活協同組合コープ自然派兵庫	○	○	○		○
生活クラブ生活協同組合都市生活	○	○	○		○
西宮市民共済生活協同組合	○	○	○		
姫路市民共済生活協同組合	○	○	○		
■ 奈良県					
市民生活協同組合ならコープ	○	○	○	○	○
生活協同組合コープ自然派奈良	○	○	○		○
生活クラブ生活協同組合(奈良)	○	○	○		○
■ 和歌山県					
わかやま市民生活協同組合	○	○	○		○
■ 鳥取県					
グリーンコープ生活協同組合とっとり	○	○	○		○
鳥取県生活協同組合	○	○	○	○	○
■ 島根県					
グリーンコープ生活協同組合(島根)	○	○	○		○
島根県学校生活協同組合	○	○	○		
生活協同組合しまね	○	○	○	○	○
■ 岡山県					
グリーンコープ生活協同組合おかやま	○	○	○		○
生活協同組合おかやまコープ	○	○	○	○	○
三井造船生活協同組合	○	○	○		○

	《たすけあい》	《あいがらす》	《ずっとあい》	《あいあい》 《新あいあい》	火災共済
■ 広島県					
グリーンコープ生活協同組合ひろしま	○	○	○		○
生活協同組合ひろしま	○	○	○	○	○
竹原生活協同組合	○	○	○		○
日立造船因島生活協同組合	○	○	○		
■ 山口県					
グリーンコープやまぐち生活協同組合	○	○	○		○
生活協同組合コープやまぐち	○	○	○		○
山口県学校生活協同組合	○	○	○		
■ 徳島県					
生活協同組合コープ自然派しこく	○	○	○		○
生活協同組合とくしま生協	○	○	○		○
徳島県学校生活協同組合	○	○	○		
■ 香川県					
香川県学校生活協同組合	○	○	○		
生活協同組合コープかがわ	○	○	○	○	○
■ 愛媛県					
生活協同組合コープえひめ	○	○	○	○	○
■ 高知県					
高知県学校生活協同組合	○	○	○		
こうち生活協同組合	○	○	○		○
■ 福岡県					
エフコープ生活協同組合	○	○	○		○
グリーンコープ共済生活協同組合連合会*					
グリーンコープ生活協同組合ふくおか	○	○	○		○
福岡県民火災共済生活協同組合	○	○	○		
■ 佐賀県					
グリーンコープ生活協同組合さが	○	○	○		○
コープさが生活協同組合	○	○	○	○	○
■ 長崎県					
グリーンコープ生活協同組合(長崎)	○	○	○		○
生活協同組合ララコープ	○	○	○	○	○
■ 熊本県					
グリーンコープ生活協同組合くまもと	○	○	○		○
生活協同組合くまもと	○	○	○	○	○
■ 大分県					
グリーンコープ生活協同組合おおいた	○	○	○		○
生活協同組合コープおおいた	○	○	○		○
日田市民生活協同組合	○	○	○		○
■ 宮崎県					
グリーンコープ生活協同組合みやざき	○	○	○		○
生活協同組合コープみやざき	○	○	○	○	○
■ 鹿児島県					
グリーンコープかごしま生活協同組合	○	○	○		○
生活協同組合コープかごしま	○	○	○	○	○
■ 沖縄県					
沖縄県学校生活協同組合	○	○	○		○
生活協同組合コープおきなわ	○	○	○	○	○

あ

■ 異常危険準備金 (いじょうきけんじゅんびきん)

共済掛金は過去の死亡率や入院・手術等の発生率を基礎として計算されますが、これらは経験的なものであって、これを超える異常な事態の発生に備えて積み立てる責任準備金のことです。貸借対照表では共済契約準備金の中の責任準備金に表示されます。

■ 異常災害見舞金 (いじょうさいがいみまいきん)

地震、津波または噴火による災害が発生した場合、「異常災害見舞金規則」の適用により共済契約者世帯に支払う見舞金です。異常災害見舞金の対象となる商品はCO・OP共済《たすけあい》、CO・OP共済《あいづらす》、CO・OP共済《ずっとあい》です。

■ 受入共済掛金 (うけいれきょうさいかけきん)

共済契約者から払い込まれた共済掛金のことです。共済掛金の内容はつぎのように構成されています。
①純掛金(共済金のお支払いにあてる掛金)②付加掛金(契約管理や共済金のお支払い等の経費にあてる掛金)。受入共済掛金は損益計算書で経常収益に計上されます。

■ 受入共済金 (うけいれきょうさいきん)

再共済契約にもとづいて出再先から受け入れた再共済金のことです。受入共済金は損益計算書で経常収益に計上されます。

■ 受入受託手数料 (うけいれじゅたくてすうりょう)

業務受託に伴い受け入れた手数料をいいます。受入受託手数料は損益計算書で経常収益に計上されます。

か

■ 解約失効率 (かいはくしっこうりつ)

加入者数に対する1年間の解約・失効件数の割合のことをいいます。「解約失効率=期中解約・失効件数÷月度平均加入者数(年間の加入者数合計÷12か月)」で算出します。

■ 解約返戻金 (かいはくへんれいきん)

共済契約が解約された際に返還する返戻金です。CO・OP共済では、CO・OP共済《ずっとあい》終身生命とCO・OP共済《ずっとあい》終身医療の一部、CO・OP共済《あいづらす》(プラチナ85を除く)で解約返戻金があります。

※CO・OP共済《ずっとあい》終身医療については、共済掛金の払込期間満了後に解約された場合に解約返戻金を支払います。

■ 価格変動準備金 (かかくへんどうじゅんびきん)

資産の価格が将来下落したときに生じる損失に備えるため、所有する資産に応じて積み立てが定められた準備金です。その繰入額は損益計算書の特別損失に計上されます。

■ 危険差益(損) (きけんさえき(そん))

想定した共済金と実際に支払った共済金の差額による利益(損失)のことです。生命共済では、死差益(損)ともいいます。

■ 基礎利益 (きそりえき)

共済事業の収益を示す指標で、経常剰余から有価証券売却損益などのキャピタル損益と臨時損益を控除したものです。

■ 共済掛金積立金 (きょうさいかけきんつみたてきん)

長期共済の共済金支払いのための積立金のことです。長期共済では、共済掛金を平準化するため、共済期間の前半では共済掛金の一部を共済掛金積立金として積み立てて、後半で積立部分を取り崩し充当するように商品設計されています。法令により平準純共済掛金式で積み立てています。貸借対照表では共済契約準備金の中の責任準備金に表示されます。

■ 共済計理人 (きょうさいけいりにん)

共済の数理についての必要な知識および経験を有し、共済掛金の算出方法や共済の数理に関する事項に関与する人です。生協法では、共済事業を実施する組合は、理事会において共済計理人を選出することが規定されています。

さ

■ 共済契約準備金 (きょうさいけいやくじゅんびきん)

共済契約にともなって発生する将来の支払いのための準備金のことです。支払備金、責任準備金(未経過共済掛金・共済掛金積立金・異常危険準備金)、割戻準備金に大別されます。貸借対照表の負債の部に表示されます。

■ 共同引受 (きょうどうひきうけ)

複数の元受団体(共済者)が、共同して共済契約を引受けることをいいます。再保険や再共済と異なり、各団体は共済契約に対し、それぞれの引受割合(額)に応じた共済責任を単独個別に持ちます。通常は代表して1つの団体が事務、管理等を行います。

■ 契約者割戻金 (けいやくしゃわりもどしきん)

共済契約者に還元する割戻金の一種です。毎事業年度の決算で剰余が生じた場合、その中から共済者(コープ共済連)が割戻準備金として積み立て、共済契約者に還元します。

■ 契約高増加率 (けいやくくだかぞうかりつ)

共済契約高が年間で増加した割合のことです。死亡保障総額の成長率を示す指標です。「契約高増加率＝期中契約高増加額÷前期末契約高」で算出します。

■ 健康告知事項 (けんこうこくちじこう)

契約引受団体が共済契約の申込み時に、共済契約者または被共済者に関する重要な事実(生命共済では病歴・通院状況など)を確認するための質問事項をいいます。

■ コープ共済センター (コールセンター)

(こーぷきょうさいせんたー (こーるせんたー))

電話等を使った組合員・共済契約者窓口の総称で、CO・OP共済の各種お問い合わせ、共済金請求などの窓口です。組合員からの電話でのお問い合わせ、共済金請求の受付、必要書類の発送を行います。

■ 事業費率 (じぎょうひりつ)

実際にかかった事業経費の収入掛金(正味共済掛金)に対する割合のことをいいます。「事業費率＝(事業経費－受入受託手数料)÷(受入共済掛金－支払共済掛金＋未経過共済掛金戻入額－未経過共済掛金繰入額)」で算出します。

■ 支払共済掛金 (しはらいきょうさいかけきん)

再共済契約にもとづいて出再先に支払った再共済掛金のことです。支払共済掛金は損益計算書で経常費用に計上されます。

■ 支払共済金 (共済金支払金額)

(しはらいきょうさいきん (きょうさいきんしはらいきんがく))

共済事業規約にもとづき共済事由が生じた場合に共済金の受取人に支払った共済金のことです。支払共済金は損益計算書で経常費用に計上されます。

■ 支払備金 (しはらいびきん)

法令にもとづき、共済事故が発生しかつ共済金請求を受付済のもので、決算日において共済金の支払いが済んでいない場合に、支払共済金相当額を支払備金として繰り入れます。また、支払事由の発生は報告を受けていないが、その支払事由が既に発生したと認める金額についても、支払備金として繰り入れます。期末において前年度に繰り入れた金額を戻し入れ、今年度分を繰り入れます。支払備金は、貸借対照表では共済契約準備金に表示されます。

■ 支払余力比率 (しはらいよりよくひりつ)

通常の予測を超えたリスクに対応できる「支払余力」を有しているかどうかの一指標です。コープ共済連では、厚生労働省が定めている「消費生活協同組合法施行規則ならびに施行規程」にもとづいて算出しています。そのため、生命保険会社、損害保険会社のソルベンシー・マージン比率とは単純に比較はできません。厚生労働省の告示によれば、上記比率は、200%以上必要とされています。

■ 支払率 (しはらいりつ)

共済掛金に占める共済金の割合のことです。算出方法は以下のとおりです。「支払率=(支払共済金-受入共済金-支払備金戻入額+支払備金繰入金)÷(受入共済金-支払共済金+未経過共済掛金戻入額-未経過共済掛金繰入額)」で算出します。

■ 重要事項説明書 (じゅうようじこうせつめいしょ)

(ご契約にあたってご了承くださいことがら)

加入 (契約) 申込書に記載する共済事業規約および細則の要約文書のことです。共済契約の締結に際して、共済契約者が共済商品の基礎的な事項について事前に理解したうえで契約手続きを行えるよう必ず付記しています。

■ 責任準備金 (せきにんじゅんびきん)

共済契約にもとづく将来における債務の履行に備えるために、法令で定められた準備金です。未経過共済掛金、共済掛金積立金、異常危険準備金が該当します。

は

■ 費差益 (損) (ひさえき (そん))

想定した事業経費と実際の事業経費の差額による利益 (損失) のことです。

■ 付加掛金 (ふかかけきん)

共済掛金のうち事業経費等にあてる部分の掛金のことです。

■ 保有契約高 (ほゆうけいやくだか)

コープ共済連および会員生協が現在保有している契約に関して基本契約である死亡保障金額の合計額を保有契約高としています。

ま

■ 未経過共済掛金 (みけいかきょうさいかけきん)

法令にもとづく責任準備金の一つです。当期に受け入れた共済掛金の一部を期末に未経過共済掛金として繰り入れます。期末において継続する共済契約の未経過の期間に対する掛金です。期末において前年度に繰り入れた金額を戻し入れ、今年度分を繰り入れます。貸借対照表では共済契約準備金の中の責任準備金に表示されます。

ら

■ ライフプラン・アドバイザー (LPA)

(らいふぷらん・あどばいざー (エルピーエー))

コープ共済連の所定のライフプランアドバイザー養成セミナーを修了した人で、生協LPAまたはLPAと呼称します。くらしの保障についての学習を行う専門知識を持ち、組合員向けの保障の見直し学習会などを企画・運営し、講師対応や組合員のライフプランについてのアドバイスをを行います。

■ 利源 (りげん)

剰余金の発生源のことです。共済掛金は予定基礎率にもとづき計算されており、各予定と実績の差により剰余金が生じることになります。剰余の利源は、① 予定発生率と実際発生率との差による危険差損益② 予定利率と実際利回りとの差による利差損益③ 予定事業経費と実際の事業経費との差による費差損益の3つがあります。

■ 利差益 (損) (りさえき (そん))

実際の資産運用益と想定した資産運用益の差額による利益 (損失) のことです。

わ

■ (契約者) 割戻準備金

((けいやくしゃ) わりもどしじゅんびきん))

共済契約者へ割戻しするための原資として繰り入れる準備金のことです。貸借対照表では共済契約準備金に表示されます。

消費生活協同組合法施行規則にもとづく索引

消費生活協同組合法施行規則 第209条

一 組合の概況及び組織に関する次に掲げる事項

- イ 業務運営の組織…………… 6
- ロ 役員の氏名及び役職名…………… 57
- ハ 事務所の名称及び所在地…………… 56

二 組合の主要な業務の内容…………… 56

三 組合の主要な業務に関する次に掲げる事項

- イ 直近の事業年度における事業の概況…………… 12
- ロ 直近の五事業年度における主要な業務の状況を示す指標として次に掲げる事項…………… 13
 - (1) 経常収益
 - (2) 経常剰余金又は経常損失金
 - (3) 当期剰余金又は当期損失金
 - (4) 出資金及び出資口数
 - (5) 純資産額
 - (6) 総資産額
 - (7) 責任準備金残高
 - (8) 貸付金残高
 - (9) 有価証券残高
 - (10) 支払余力比率
 - (11) 法第五十二条第二項の区分ごとの剰余金の配当の金額
 - (12) 職員数
 - (13) 保有契約高又は正味収入共済掛金の額
- ハ 法第五十三条の十八第一項に規定する共済事業専業組合にあっては、直近の二事業年度における事業の状況を示す指標として別表第三の上欄に掲げる項目の別に応じ同表の下欄に定める記載事項

別表第三

■主要な業務の状況を示す指標

- 一 共済種類別新契約高及び保有契約高
又は元受共済掛金…………… 65
- 二 共済契約種類別保障機能別保有契約高…………… 66
- 三 共済種類別支払共済金の額…………… 69
- 共済契約に関する指標
 - 一 共済種類別保有契約増加率…………… 65
 - 二 新契約平均共済金額及び保有契約平均共済金額…………… 70
 - 三 解約失効率…………… 70
 - 四 月払契約の新契約平均共済掛金…………… 70
 - 五 契約者割戻しの状況…………… 71
 - 六 再共済又は再保険を引受けた主要な会社数…………… 76
 - 七 上位五社に対する支払再共済掛金又は支払再保険料の割合…………… 76
 - 八 格付機関による格付に基づく区分ごとの支払再保険料の割合…………… 77
 - 九 未収再共済金又は再保険金の額…………… 77
 - 十 第三分野共済の共済契約に係る給付事由又は共済事業の種類ごとの発生共済金額の経過共済掛金に対する割合…………… 77

■経理に関する指標

- 一 責任準備金の積立方式及び積立率…………… 79
- 二 共済種類別契約者割戻準備金明細…………… 79
- 三 引当金明細…………… 79
- 四 区分ごとの法定準備金及び任意積立金明細…………… 80
- 五 事業経費の明細…………… 81

■資産運用に関する指標

- 一 主要資産の区分別平均残高…………… 82
- 二 主要資産の区分別構成及び増減…………… 82
- 三 主要資産の区分別運用利回り…………… 82

- 四 区分別の資産運用収益明細…………… 83
- 五 区分別の資産運用費用明細…………… 83
- 六 利息及び配当金収入等明細…………… 83
- 七 有価証券の種類別残高…………… 84
- 八 有価証券の種類別の残存期間別残高…………… 84
- 九 業種別保有株式の額…………… 86
- 十 共済契約貸付及び業種別の貸付金残高並びに
当該貸付金残高の合計に対する割合…………… 86
- 十一 使途別の貸付金残高…………… 86
- 十二 担保の種類別貸付金残高…………… 86
- 十三 区分別の海外投資残高…………… 86
- 十四 海外投資の地域別構成…………… 86
- 十五 海外投資運用利回り…………… 86
- その他の指標
 - 業務用固定資産残高…………… 91

四 契約年度別責任準備金残高及び予定利率…………… 77

五 組合の業務の運営に関する次に掲げる事項

- イ リスク管理体制…………… 33
- ロ 法令遵守の体制…………… 34
- ハ 法第五十条の十二第一項第一号の確認(第三分野共済の共済契約に係るものに限る。)の合理性及び妥当性…………… 33

六 組合の直近の二事業年度における財産の状況に関する次に掲げる事項

- イ 貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書
又は損失金処理計算書…………… 92
- ロ 貸付金のうち次に掲げるものの額及びその合計額…………… 87
 - (1) 破綻先債権に該当する貸付金
 - (2) 延滞債権に該当する貸付金
 - (3) 三月以上延滞債権に該当する貸付金
 - (4) 貸付条件緩和債権に該当する貸付金
- ハ 債権について、債務者の財政状態及び経営成績等を基礎として次に掲げるものに区分することにより得られる各々に関し貸借対照表に計上された金額…………… 87
 - (1) 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
 - (2) 危険債権
 - (3) 要管理債権及び条件緩和貸付金
 - (4) 正常債権
- ニ 共済金等の支払能力の充実状況…………… 89
- ホ 次に掲げるものに関する取得価額又は契約価額、
時価及び評価損益…………… 87
 - (1) 有価証券
 - (2) 金銭の信託
 - (3) デリバティブ取引
- ヘ 貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額…………… 79
- ト 貸付金償却の額…………… 86

消費生活協同組合法施行規則 第211条

一 組合及び子会社等の概況に関する次に掲げる事項

- イ 組合及びその子会社等の主要な事業の内容及び組織の構成 58
- ロ 組合の子会社等に関する次に掲げる事項 58
 - (1) 名称
 - (2) 主たる営業所又は事務所の所在地
 - (3) 資本金又は出資金
 - (4) 事業の内容
 - (5) 設立年月日
 - (6) 組合が有する子会社等の議決権の総株主、総社員又は総出資者の議決権に占める割合
 - (7) 組合の一の子会社等以外の子会社等有する当該一の子会社等の議決権の総株主、総社員又は総出資者の議決権に占める割合

二 組合及びその子会社等の主要な業務に関する事項として次に掲げるもの

- イ 直近の事業年度における事業の概況 59
- ロ 直近の五連結会計年度における主要な業務の状況を示す指標として次に掲げる事項 60
 - (1) 経常収益
 - (2) 経常剰余金又は経常損失金
 - (3) 当期剰余金又は当期損失金
 - (4) 純資産額
 - (5) 総資産額

三 組合及びその子会社等の直近の二連結会計年度における財産の状況に関する次に掲げる事項

- イ 連結貸借対照表、連結損益計算書及び連結純資産変動計算書 60
- ロ 貸付金のうち次に掲げるものの額及びその合計額 61
 - (1) 破綻先債権に該当する貸付金
 - (2) 延滞債権に該当する貸付金
 - (3) 三月以上延滞債権に該当する貸付金
 - (4) 貸付条件緩和債権に該当する貸付金
- ハ 事業の種類ごとの区分に属する経常収益の額、経常剰余金又は経常損失金の額及び資産の額 61

四 事業年度の末日において、重要事象等が存在する場合には、その旨及びその内容、当該重要事象等についての分析及び検討内容並びに当該重要事象等を解消し、又は改善するための対応策の具体的内容 61

● コーすけのご紹介! ●

コーすけ



胸の『C』、両耳の『O』、
しっぽの『P』で
CO・OPに!

ログセ

たまには失敗もするけれど、
「一緒にがんばるのだ」の決
まり文句で絶対にめげない。
強いハートの持ち主。

性格

困っている人がいると、どん
なに遠くからでも飛んできて
たすけてくれる。
ありがとうの声を聞くと感動
して「うるうる」してしまう
涙もろい一面もあり。

コーすけ とは

コープの「コー」とたすけあいの「すけ」でコーすけ。
一人前を夢見てがんばるクマの生協職員です。お子
さまをお持ちのママやパパをはじめ、保障商品に興
味の無い方にもCO・OP共済を広く知ってもらうこと
がコーすけのミッションです。

CO・OP共済 事業のご報告

ANNUAL REPORT 2020

発行日：2020年8月

発 行：日本コープ共済生活協同組合連合会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-1-13

電 話：03-6836-1320（渉外・広報部）

ホームページ：<http://coopkyosai.coop>



明日の暮らし、ささえあう

CO-OP 共済



この印刷物は植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。